

2-3 在宅学習システムの構築に向けた学習環境、条件等

2-3-1 マルチメディアパソコンの所有状況

(1) 全体及びオンライン調査・郵送調査別、性別の所有状況

マルチメディアパソコン（CD-ROMドライブ装置付き等）の所有状況については、先にも触れているが、改めてオンライン調査・郵送調査別、性別、年齢別の調査結果を示す。

まずオンライン調査をみると、当然のことながらその所有率が高い。全体の87.6%がマルチメディアパソコンを持っている。性別では「持っていない」割合は女性の方が男性より低いが、「自分専用のものを持っている」割合は男性の方が高く、女性は「家族と共有のものを持っている」割合が増加している。

郵送調査をみると、所有状況は「持っていない」が最も多く、その割合は70.3%に達している。しかし、昨年以降パソコンは急速な普及を見せているため次回に同様の調査を行えば、所有率は大幅に向上するであろう。

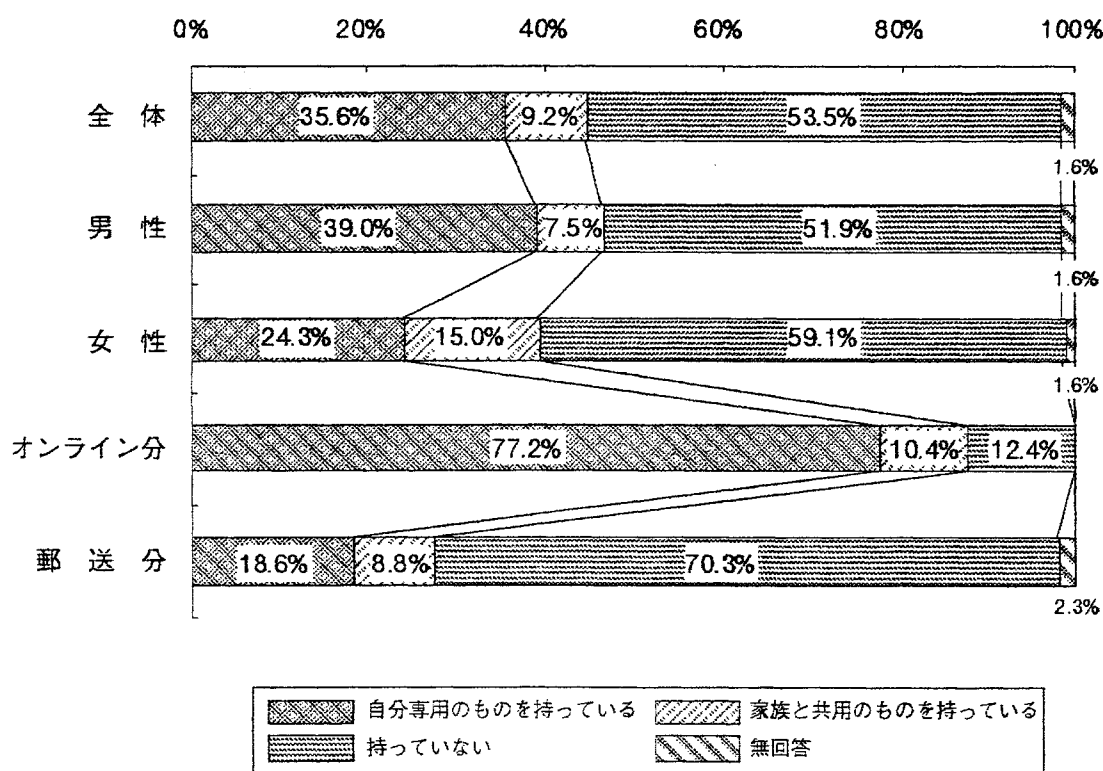


図2-3-1 マルチメディアパソコンの所有状況（全体）

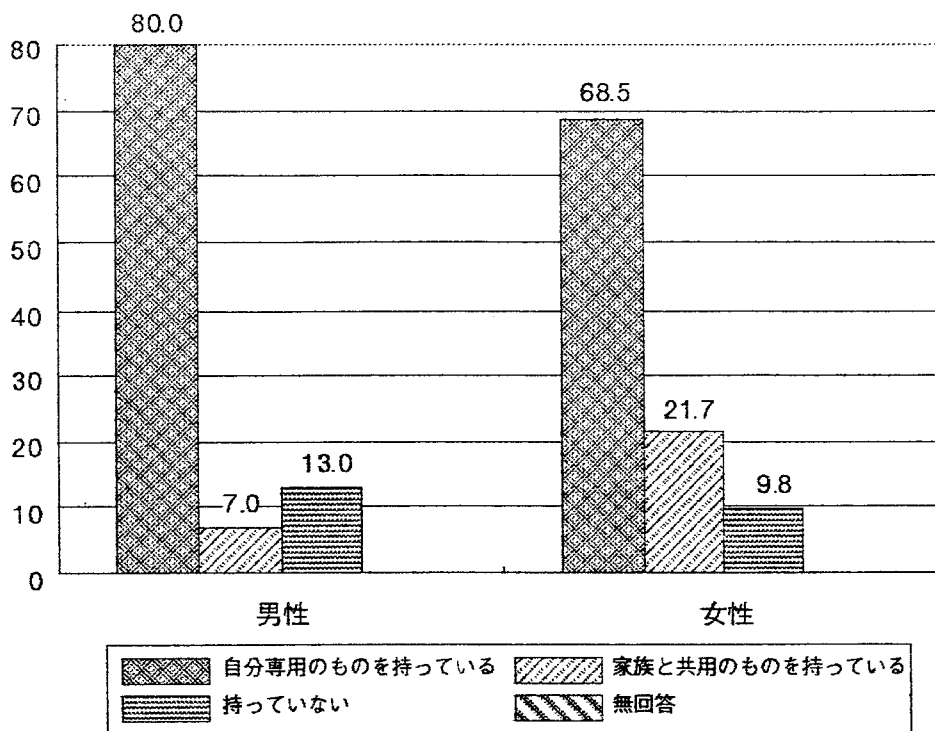


図 2-3-2 マルチメディアパソコンの所有状況（オンライン調査の性別）

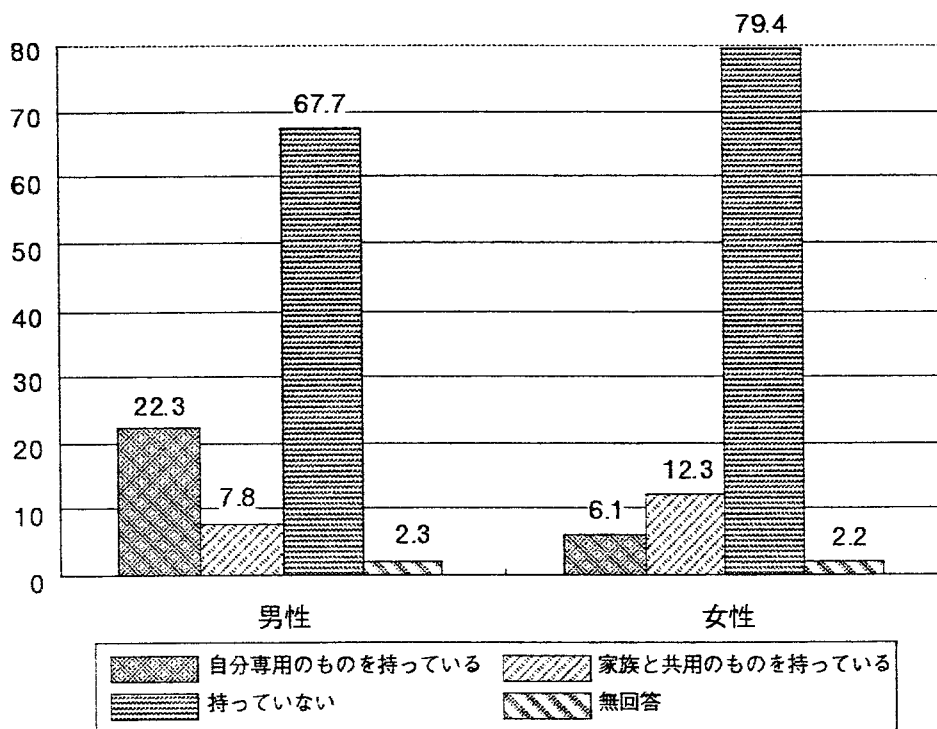


図 2-3-3 マルチメディアパソコンの所有状況（郵送調査の性別）

(2) 年齢別の所有状況

ここではオンライン調査は省略し、郵送調査についてのみ見ると、郵送調査全体では「自分専用のものを持っている」が18.6%、「家族と共有のものを持っている」が8.8%、「持っていない」が70.3%となっている。「自分専用のものを持っている」については「30～39歳」の割合が25.2%と比較的高い。逆に「22歳未満」は6.7%と低く、「持っていない」が87.4%にも及んでいる。「家族との共有のものを持っている」所有者は、「40～49歳」と「50歳以上」が高目の割合となっており、独占使用できない家庭の事情が推察される。

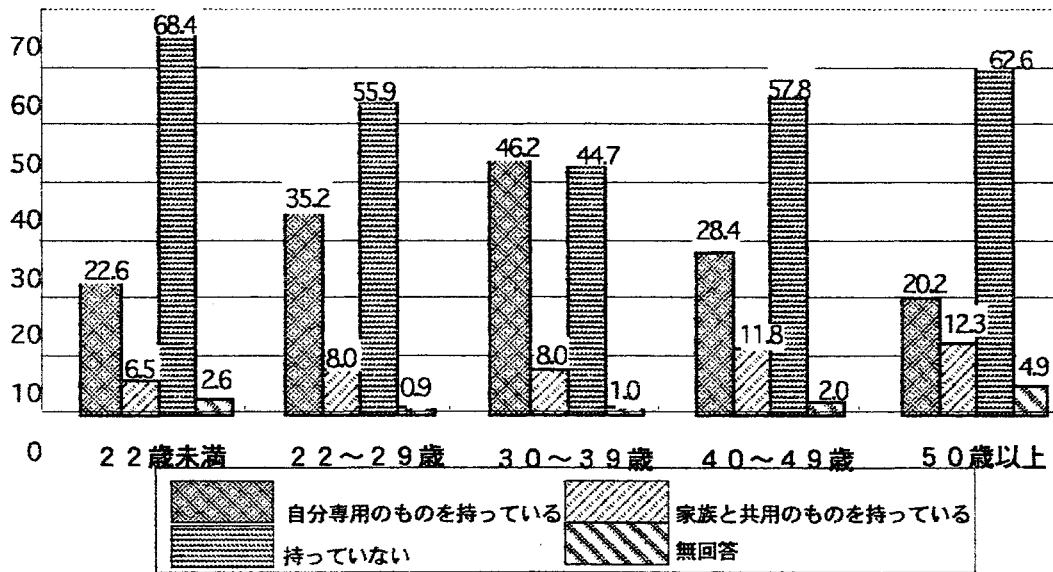


図2-3-4 マルチメディアパソコンの所有状況（全体の年齢別）

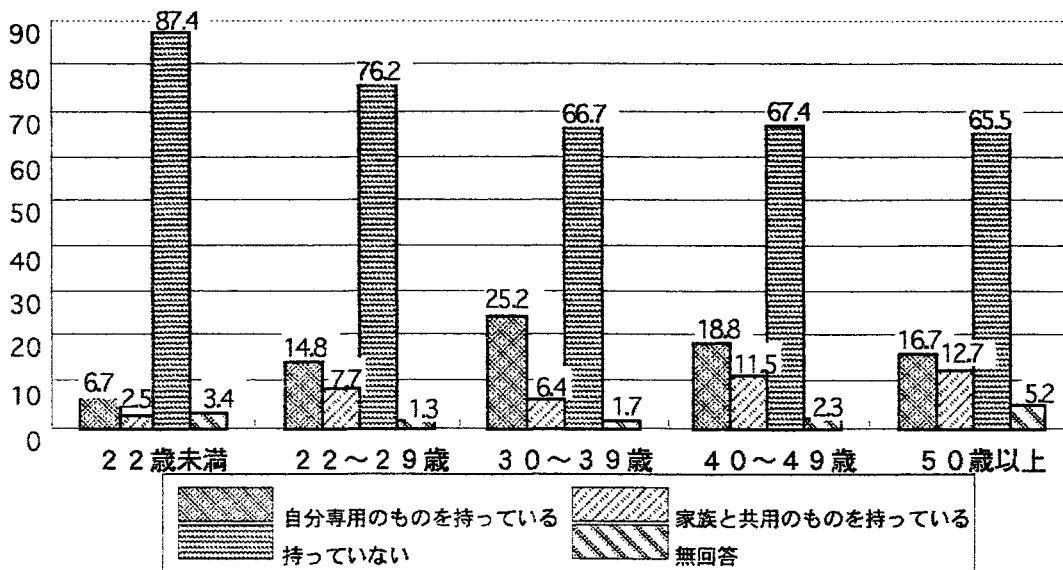


図2-3-5 マルチメディアパソコンの所有状況（郵送調査の年齢別）

(3) 居住地域別の所有状況

これも郵送調査のみについて見ると、「持っていない」割合は「九州・沖縄」(77.5%)、「北海道・東北」(74.4%)が相対的に高く、家族との共有を含めた所有率は南関東が34.4%で最も高くなっている。

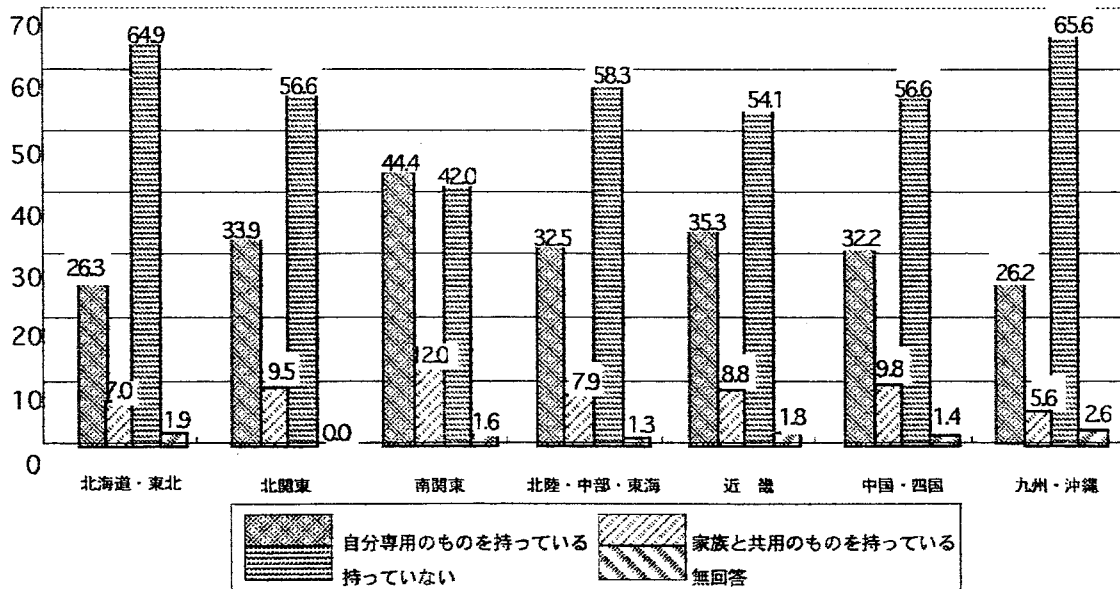


図2-3-6 マルチメディアパソコンの所有状況(全体の地域別)

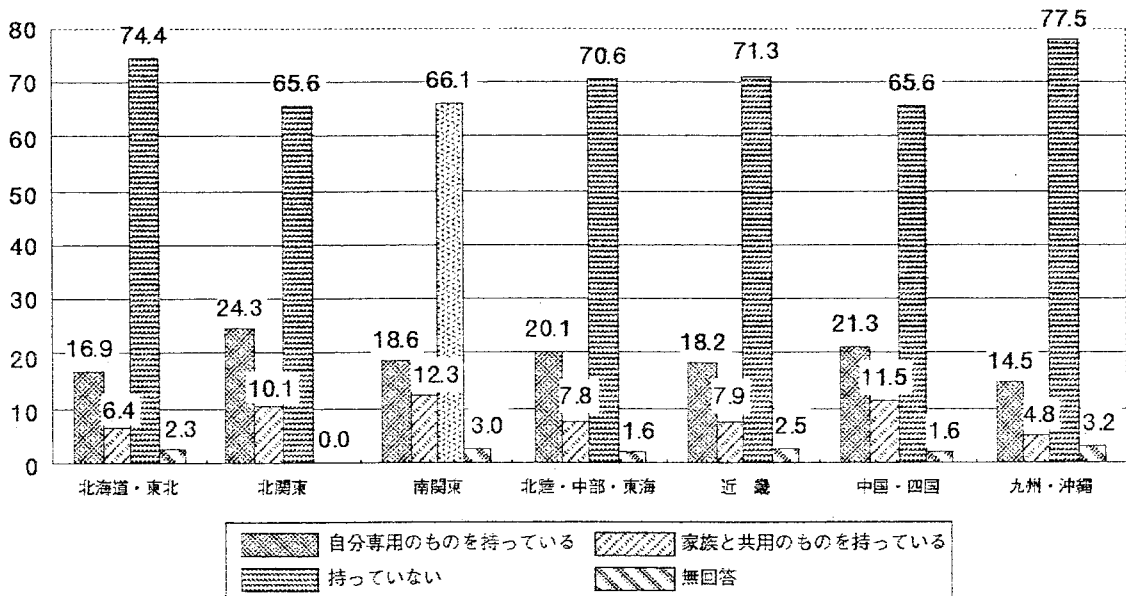


図2-3-7 マルチメディアパソコンの所有状況(郵送調査の地域別)

2-3-2 パソコン等のOA機器の操作習熟度

(1) 操作習熟度のオンライン調査と郵送調査の相違

パソコン等のOA機器の操作習熟度は、パソコンの所有状況と同様、オンライン調査と郵送調査ではほとんど正反対の傾向を示している。オンライン調査の「ベテラン」に対し郵送調査は「初心者」とも表現でき、その習熟度には大きな差が見られる。オンライン調査は、大手商用パソコン通信サービス「ニフティサーブ」のオンライン・アンケートサービスを利用したため、回答者は原則としてパソコン通信ユーザーである。一方、郵送調査は広く在職労働者を母集団としてアンケートをしたものであり、一般的傾向はこの郵送調査の結果に近いといえる。郵送調査全体でのその習熟度は、割合が高い順に「ワープロ、表計算、データベースのうちいずれか一つができる」(41.0%)、「ワープロ、表計算、データベースが総合的に処理できる」(17.7%)、「パソコン通信等の一つはできる」(12.8%)、「パソコンは起動することはできる」(11.2%)、「パソコン操作は全然できない」(10.4%)となっている。

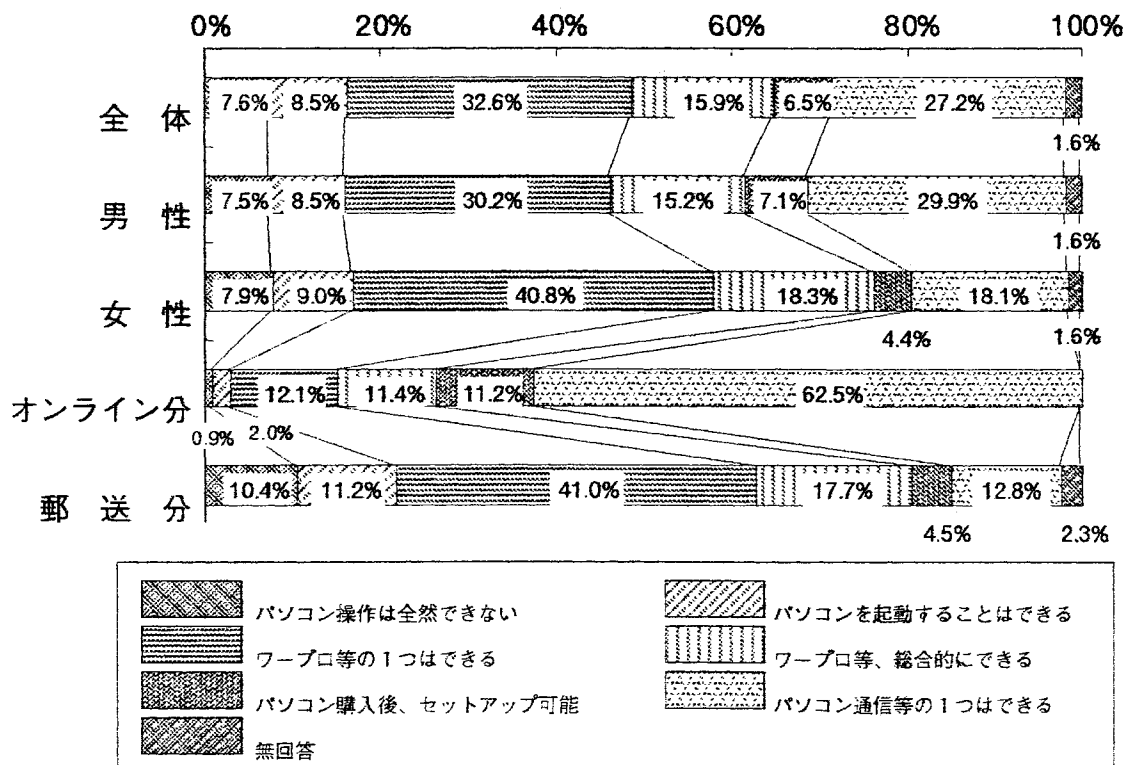


図 2-3-8 パソコン等の操作習熟度 (全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別)

(2) 年齢別の操作習熟度

郵送調査のみについてみると、全体の割合に対して差が認められるのは、「30～39歳」の「パソコン通信、LAN構築、データベースの構築、インターネット等いずれか一つについて経験がある」の割合(19.2%)が年齢別で一番高く、「ワープロ、表計算、データベースのうちいずれか一つ出来る」の割合(36.1%)が一番低くなっていること、また「50歳以上」の「パソコン操作は全然出来ない」は17.6%と年齢別で最も高く、「ワープロ、表計算、データベースのうちいずれか一つ出来る」も37.1%とやや低い割合となっている。「30～39歳」の年代を中心に、パソコン通信等のネットワークに関心が高いことが推察される。

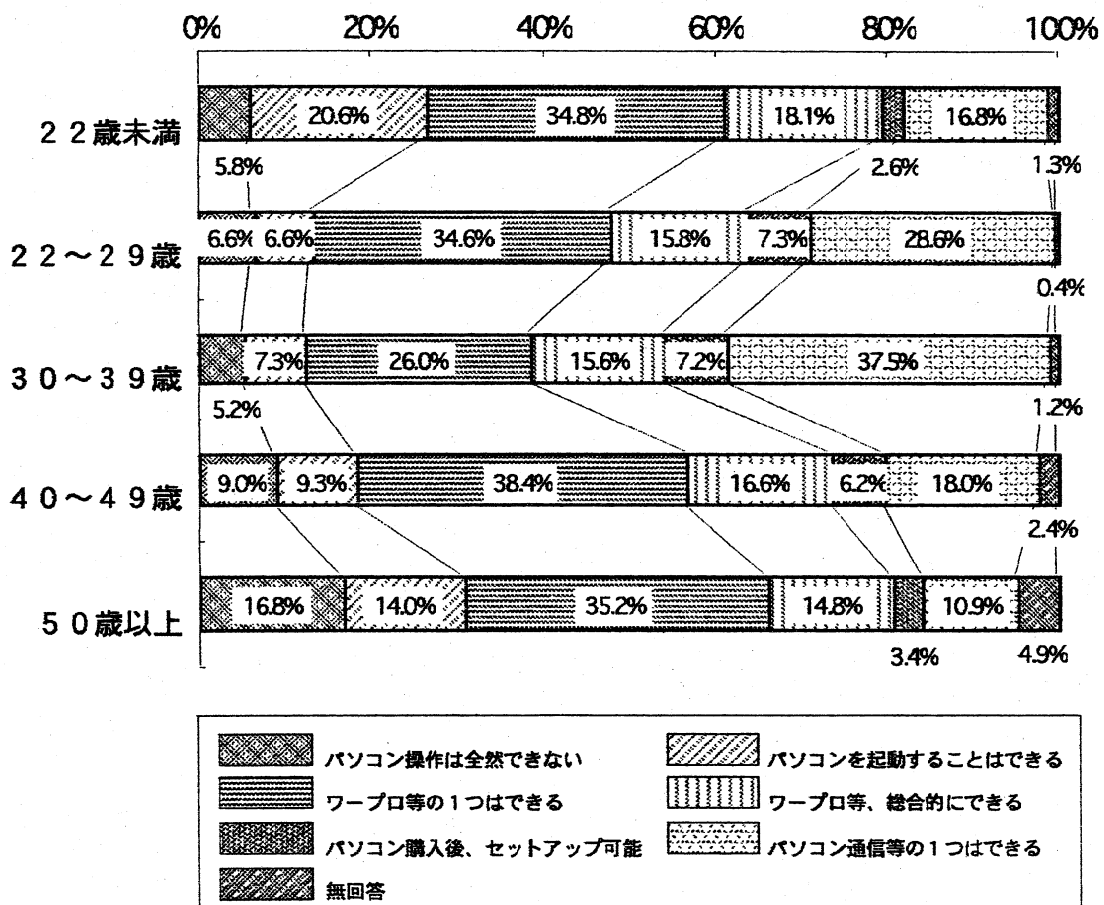


図 2-3-9 パソコン等の操作習熟度 (全体の年齢別)

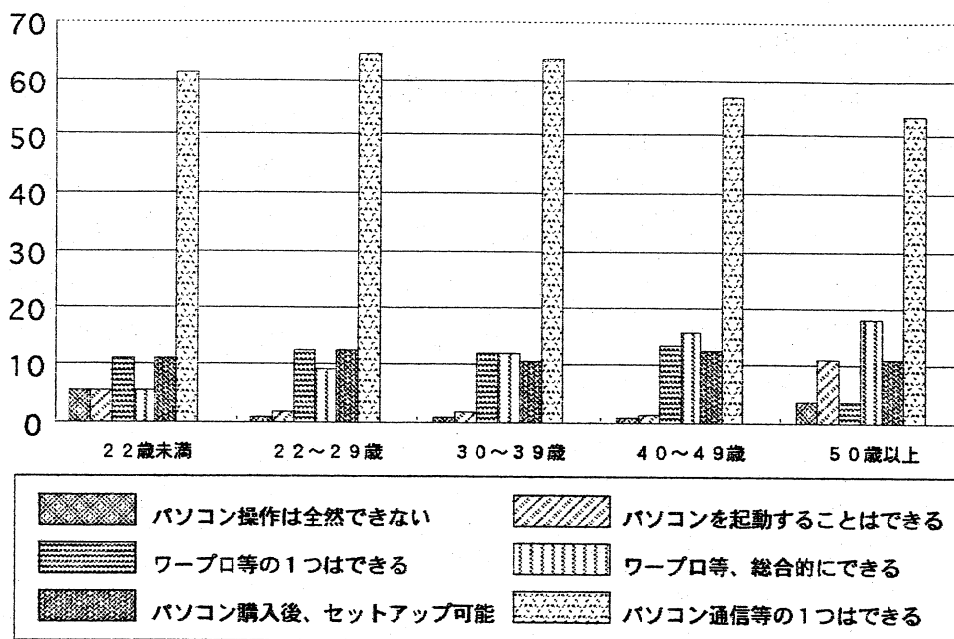


図 2-3-10 パソコン等の操作習熟度 (オンライン調査の年齢別)

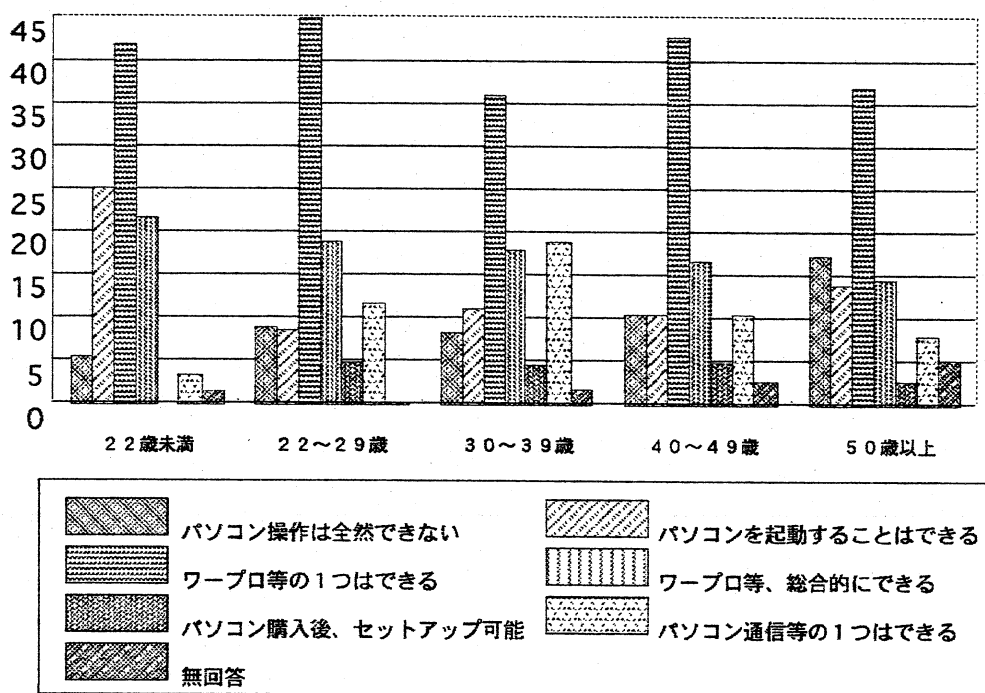


図 2-3-11 パソコン等の操作習熟度 (郵送調査の年齢別)

(3) 職種別の操作習熟度

ここも郵送調査についてのみ職種別の操作習熟度をみると、「パソコン操作は全然出来ない」の割合が最も高いのは「技能工・生産工程従事者」の27.6%となっている。逆に「専門・技術」と「事務」はその割合は低く、「専門・技術」は「パソコン通信、LAN構築、データベースの構築、インターネット等いずれか一つについて経験がある」が24.6%で最も高く、また、「事務」は「ワープロ、表計算、データベースのうちいずれか一つ出来る」(49.3%)、「ワープロ、表計算、データベースが総合的に処理出来る」(20.6%)が他の職種に比べて高い割合となっている。「サービス」と「運輸・通信」はサンプル数が少なく、統計データとしての扱いには注意を要する。

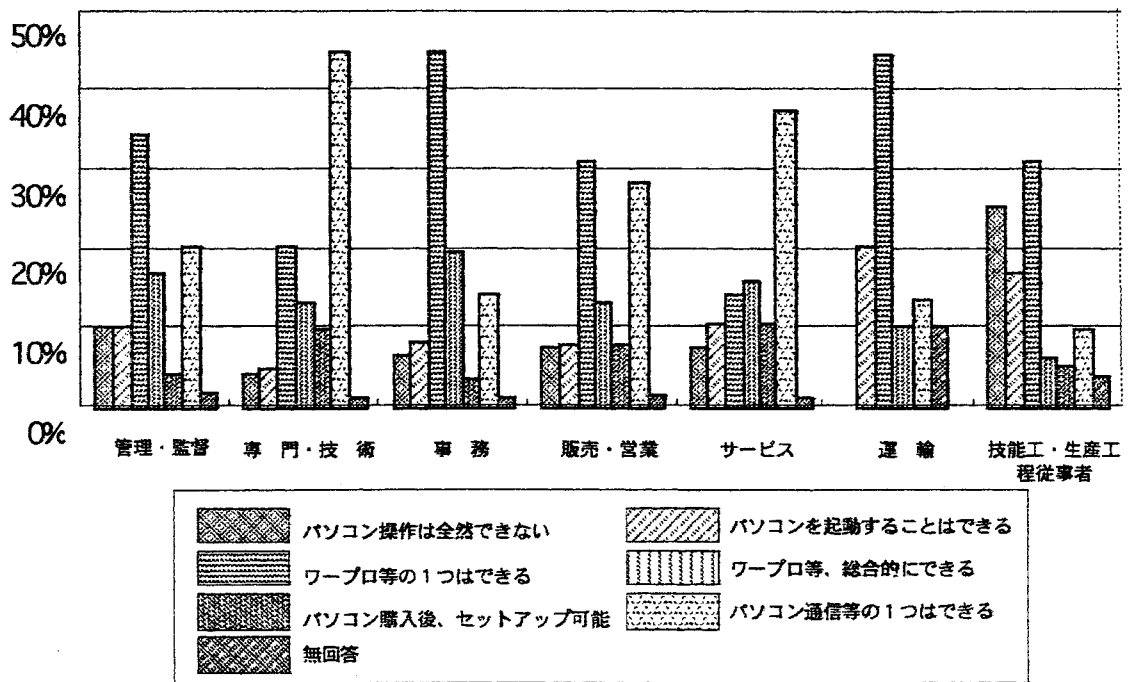


図 2-3-1 2 パソコン等の操作習熟度 (全体の職種別)

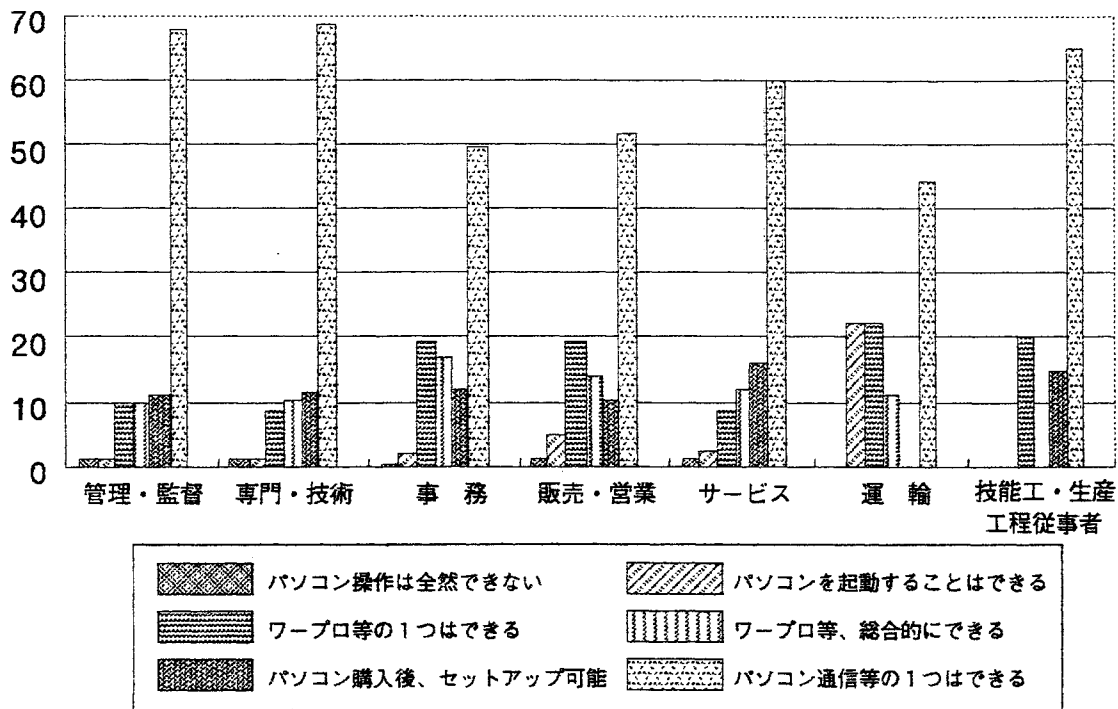


図 2-3-13 パソコン等の操作習熟度 (オンライン調査の職種別)

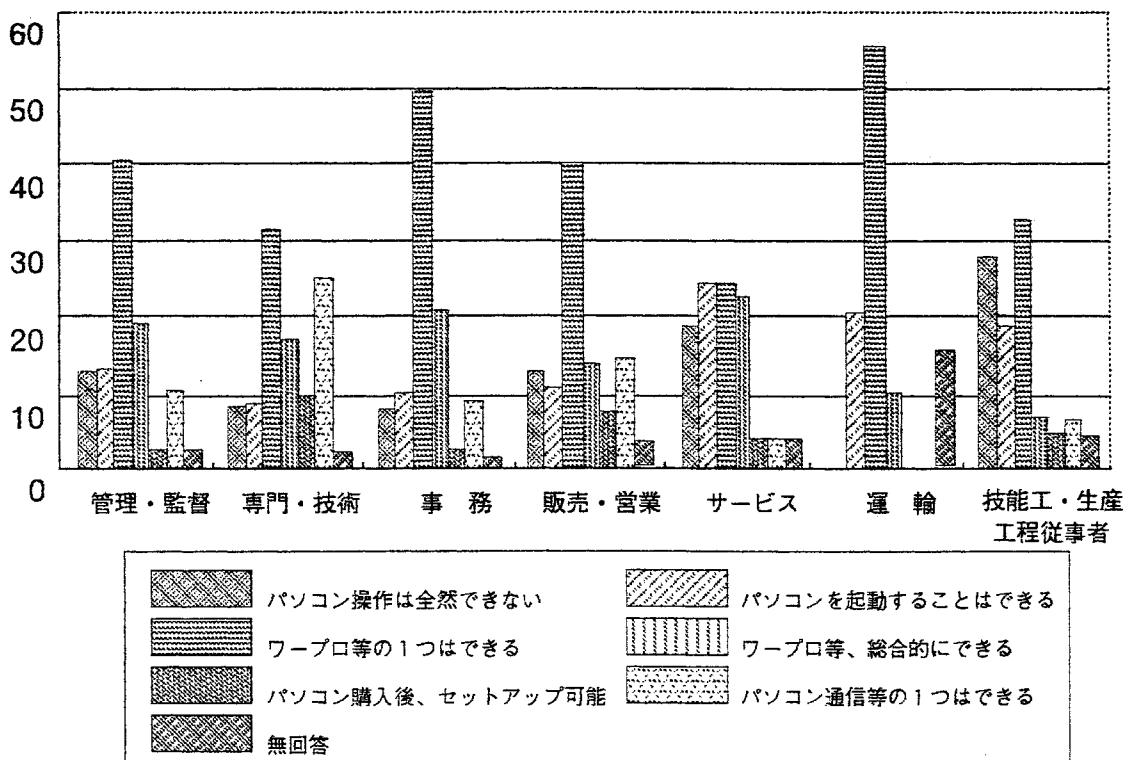


図 2-3-14 パソコン等の操作習熟度 (郵送調査の職種別)

2-3-3 本システムによる1日の学習時間とその時間帯

(1) 全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別の学習時間

在宅学習システムを利用して学習しようとする場合、1日の学習時間はどのくらいの長さが適当かを尋ねたものである。全体を見ると最も割合が高いのは「30分以上～1時間未満」で57.9%、次いで「1時間以上～2時間未満」の25.3%、「30分未満」の12.8%となっている。性別で見ると女性で「1時間以上～2時間未満」の割合が男性より高く、「30分未満」では逆に低くなっている。オンライン調査、郵送調査を比べると、オンライン調査は「30分未満」の割合が17.9%と比較的高く、逆に「1時間以上～2時間未満」は20.5%と全体の割合より低くなっている。長時間利用に対する通信料金等のコスト意識がやや影響しているものと見られる。郵送調査はほぼ女性と同様の傾向を示している。

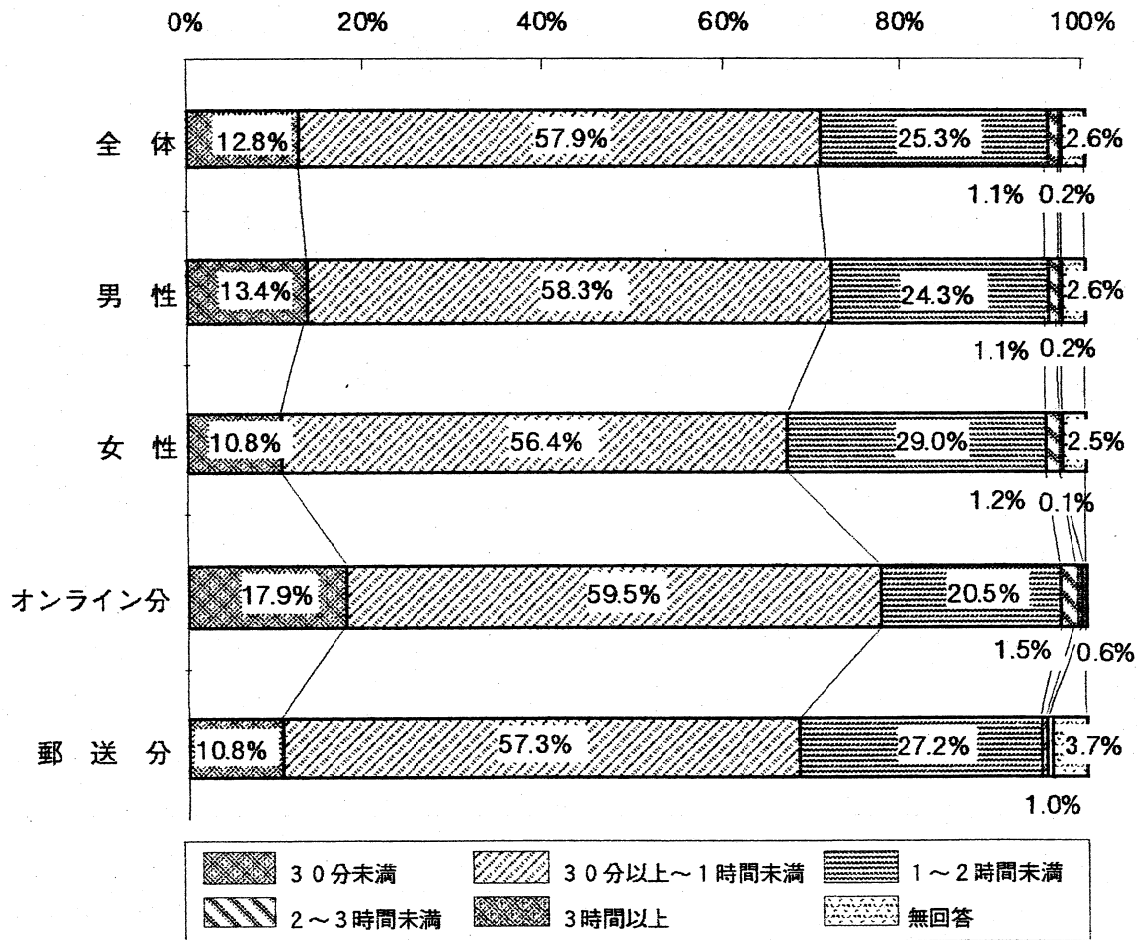


図2-3-15 1日の学習時間（全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別）

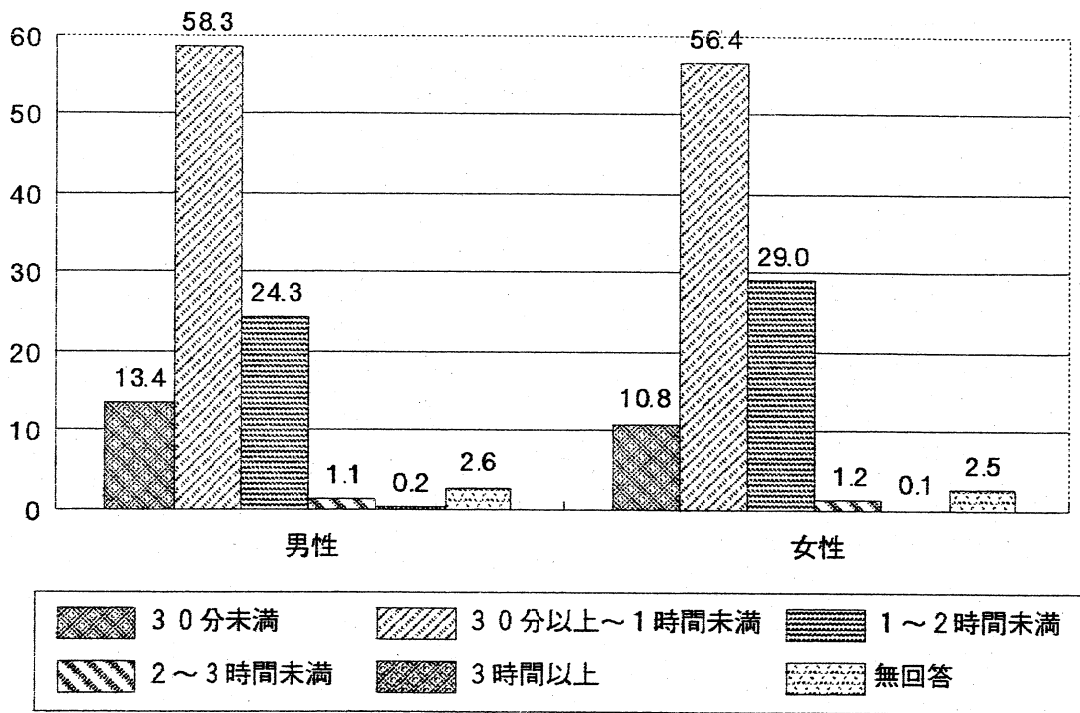


図2-3-16 1日の学習時間（全体の性別）

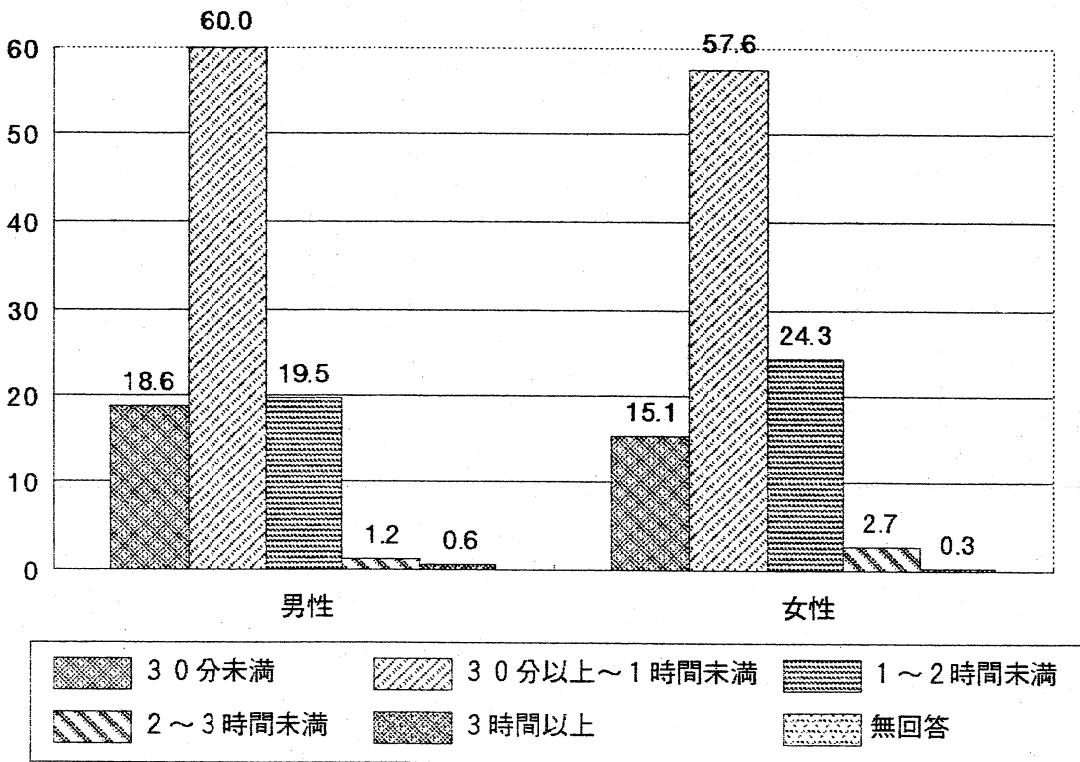


図2-3-17 1日の学習時間（オンライン調査の性別）

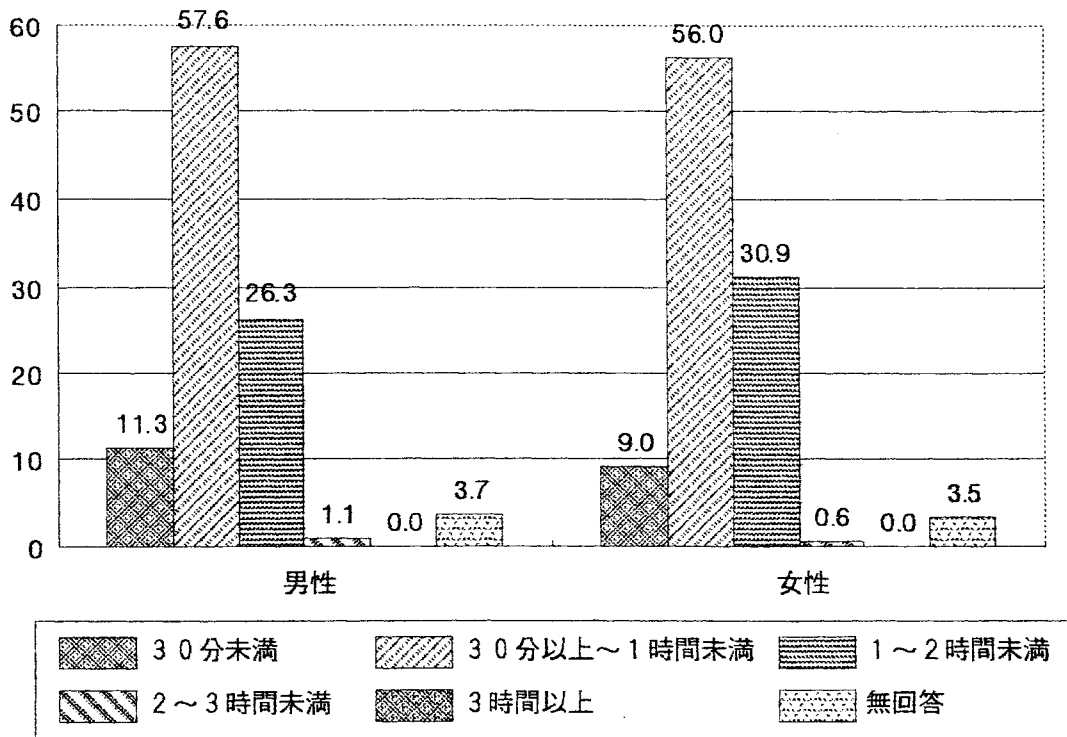


図 2-3-18 1日の学習時間（郵送調査の性別）

(2) 年齢別の1日の学習時間

郵送調査について年齢別に見ると、「22～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」の三階級はほぼ同様の傾向になっているが、「50歳以上」では「30分未満」の割合が5.4%と低く、逆に「1時間～2時間未満」の割合が34.5%と高くなっている。

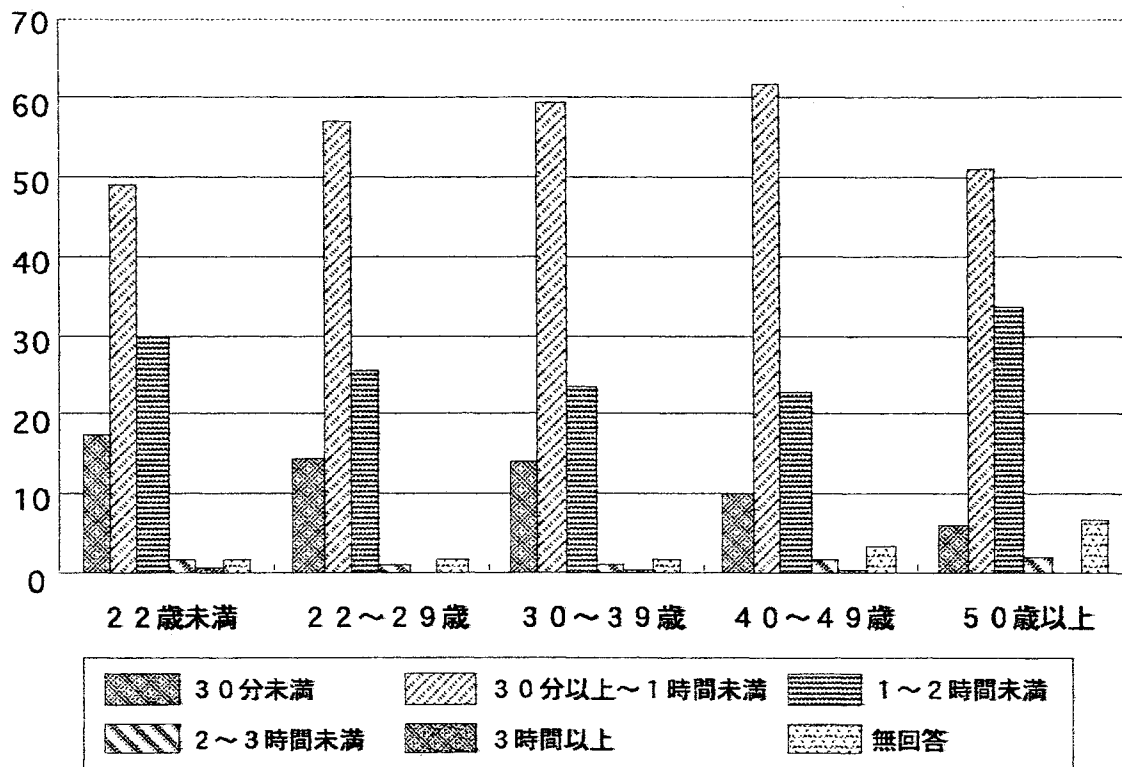


図 2-3-19 1日の学習時間（全体の年齢別）

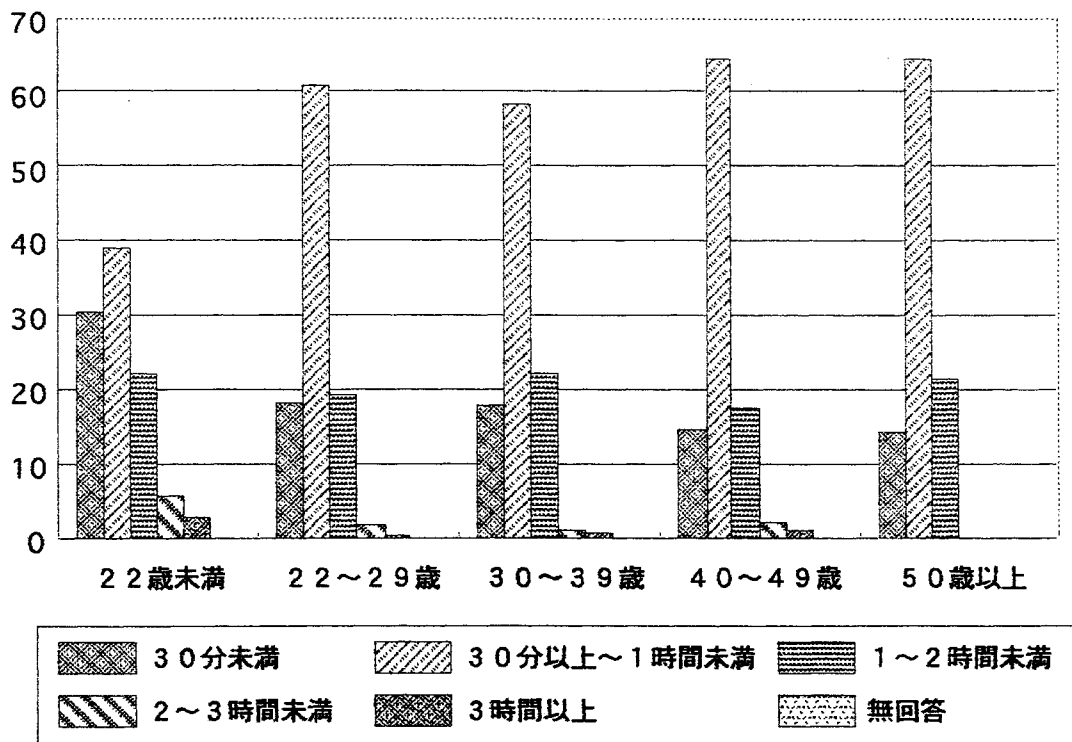


図 2-3-20 1日の学習時間（オンライン調査の年齢別）

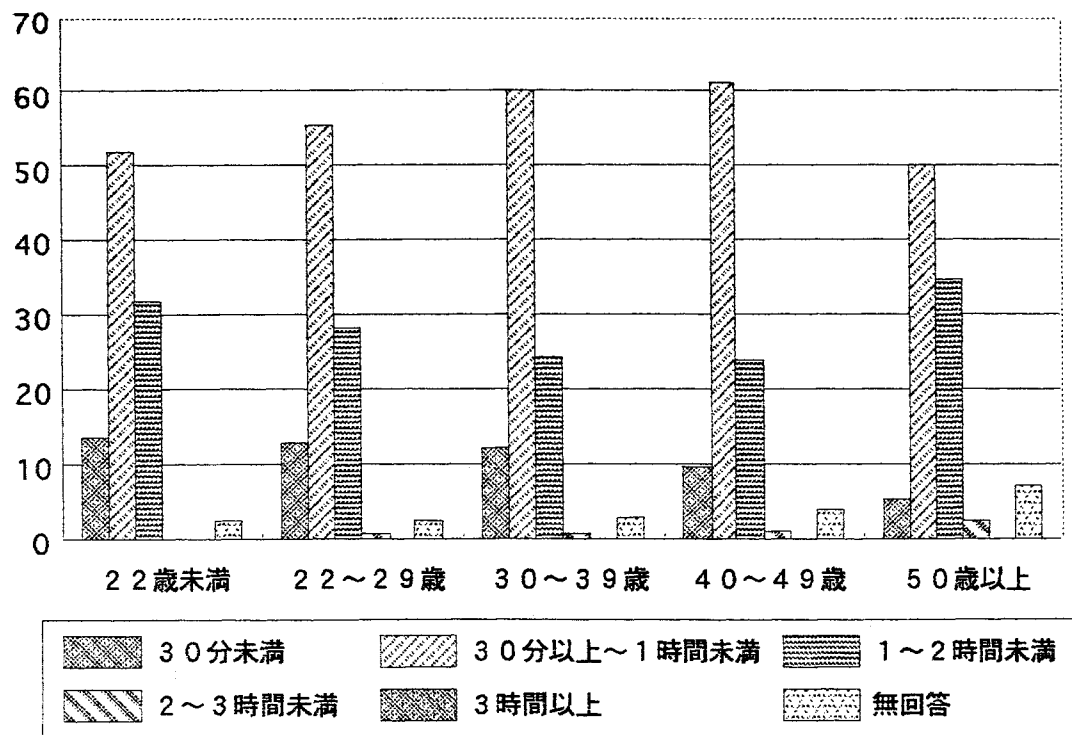


図 2-3-21 1日の学習時間（郵送調査の年齢別）

(3) 全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別の学習時間帯

在宅学習システムにより学習する場合の時間帯は、まず全体を見ると「午後9時から12時くらいの間」に回答が集中し、その割合は68.7%と高くなっている。第二位以下は割合が大幅に減少し、「午後7時から9時くらいの間」(9.6%)、「深夜12時から2時くらいの間」(8.4%)、「午前5時から7時くらいの間」(4.3%)、「午後5時から7時くらいの間」(3.7%)の順になっている。性別による大きな差は見られない。オンライン調査を見ると、男女共「深夜12時から2時間くらいの間」の割合がそれぞれ19.2%、19.6%と高くなっている。回線の混み具合や通信費用など現状の問題を反映していると言えなくもない。

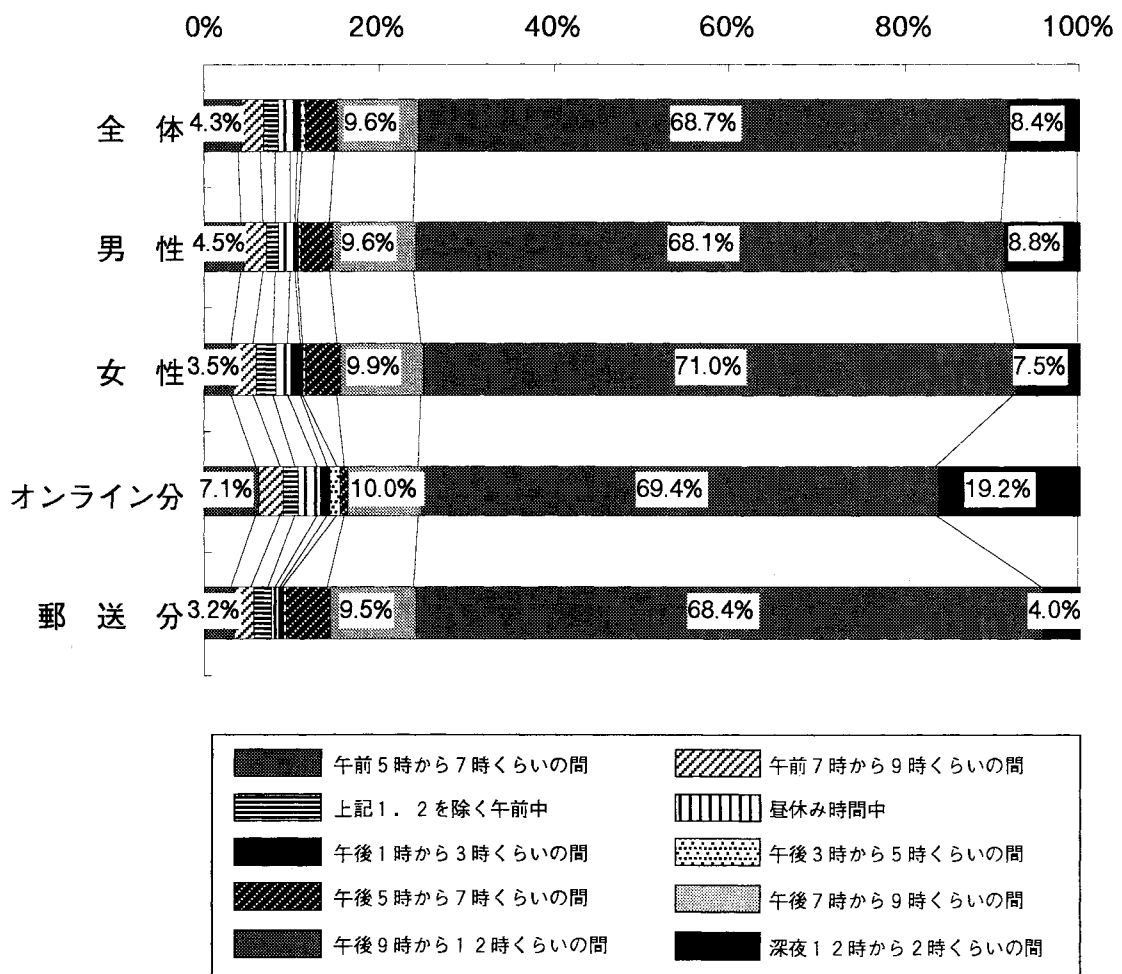


図2-3-22 学習の時間帯（全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別）

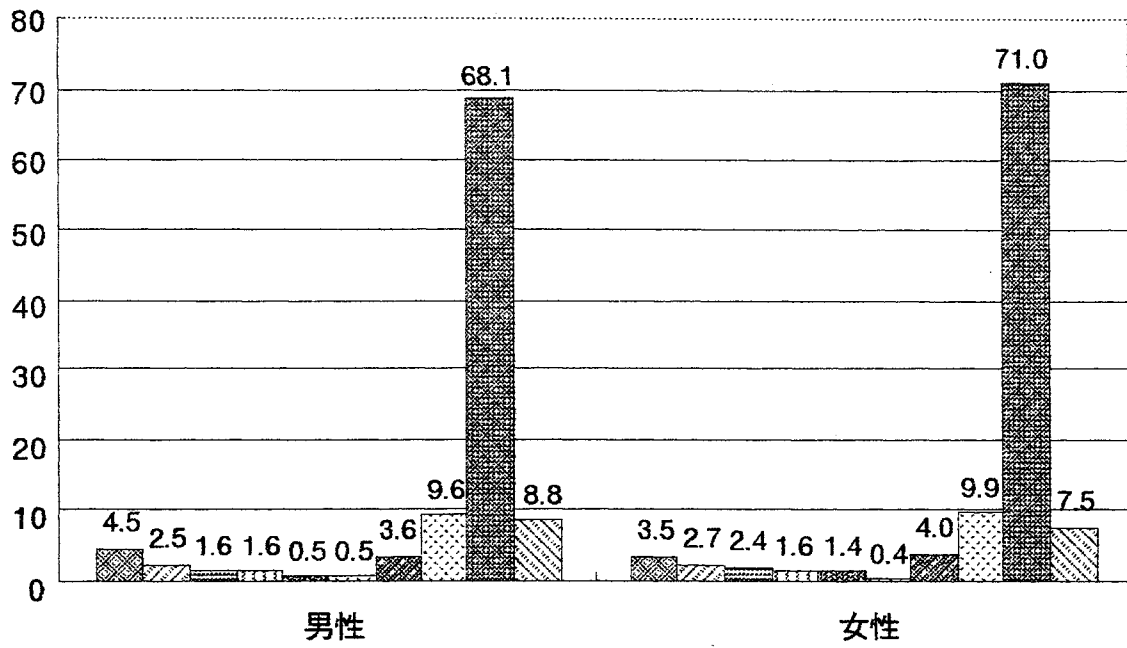


図 2-3-23 学習の時間帯（全体の性別）

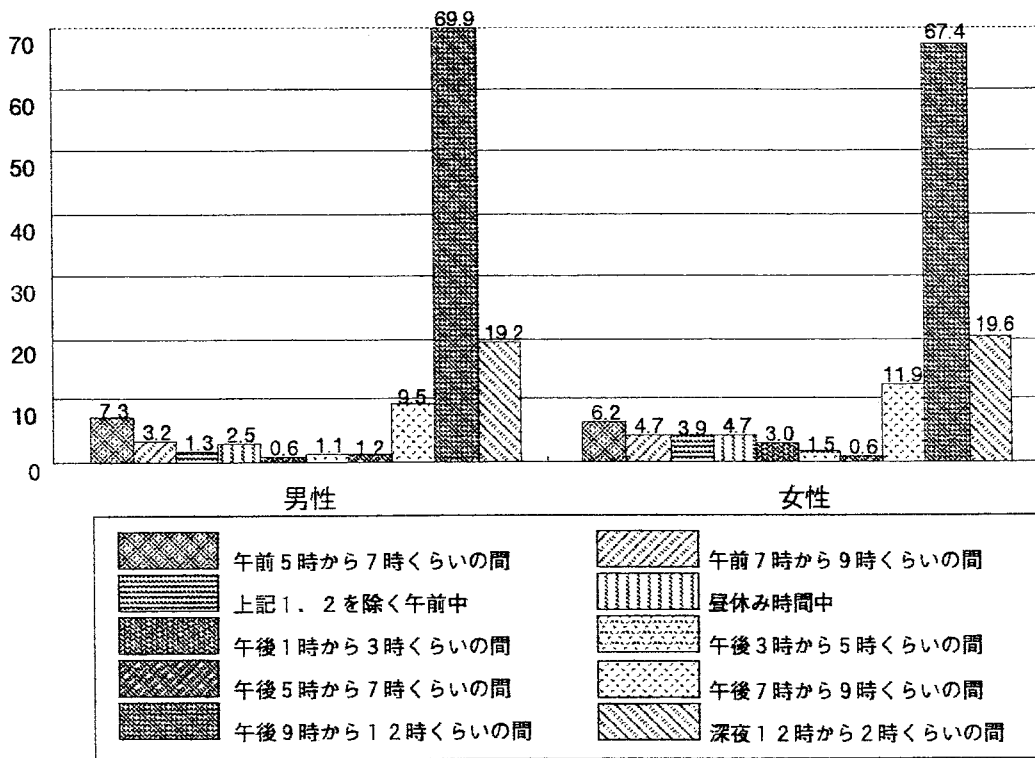


図2-3-24 学習の時間帯（オンライン調査の性別）

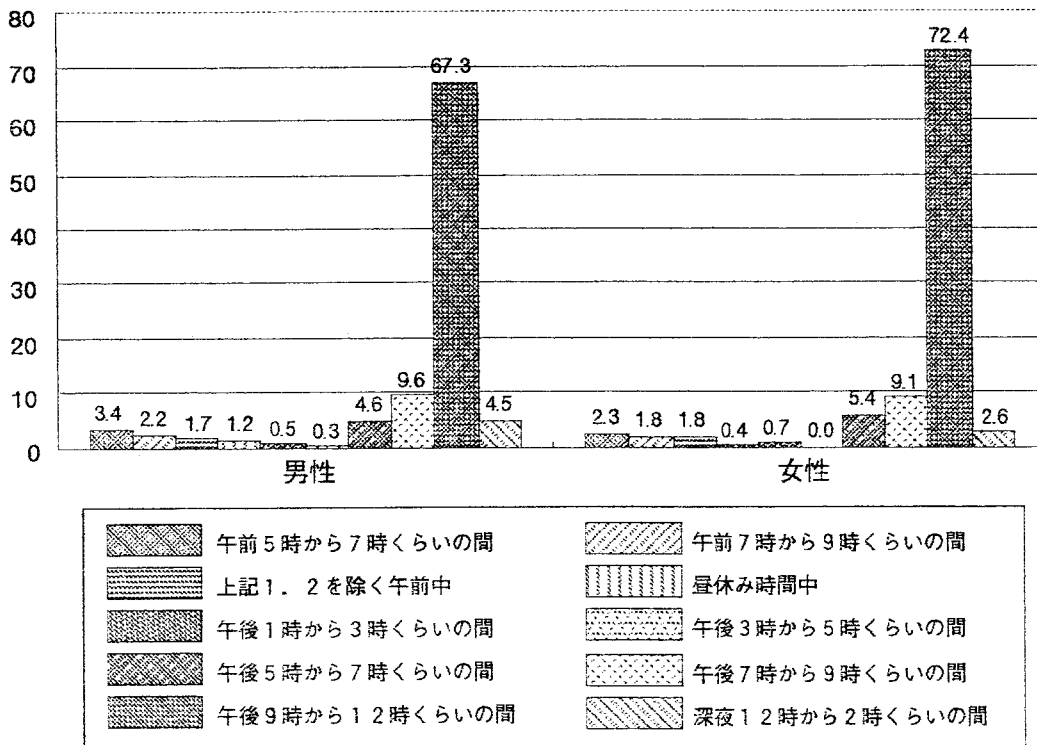


図2-3-25 学習の時間帯（郵送調査の性別）

2-3-4 学習場所に関する要望

(1) 全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別の学習場所に関する要望

在宅学習システムで勉強できる場所について希望を尋ねたものである。まず全体合計を見ると、「自宅のみで良い」が35.3%で一番割合が高く、次いで「自宅と会社と両方で出来ると良い」(28.1%)、「ノートパソコンでどこからでも出来ると良い」(23.1%)、「自宅と教育訓練施設で出来ると良い」(10.4%)となっている。オンライン調査と郵送調査別に見ると、「自宅のみで良い」についてオンライン調査が40.5%と高いのに対し、郵送調査では33.1%とやや低く、「ノートパソコンでどこからでも出来ると良い」についてもオンライン調査が郵送調査に比べてやや高い割合となっている。在宅学習システムにおける受講者管理や回線の接続等を考慮すれば個人所有のパソコンを使用する「自宅のみ」が相応しいといえるが、その他の場所(職場等)でも利用可能なシステムとする必要はあろう。

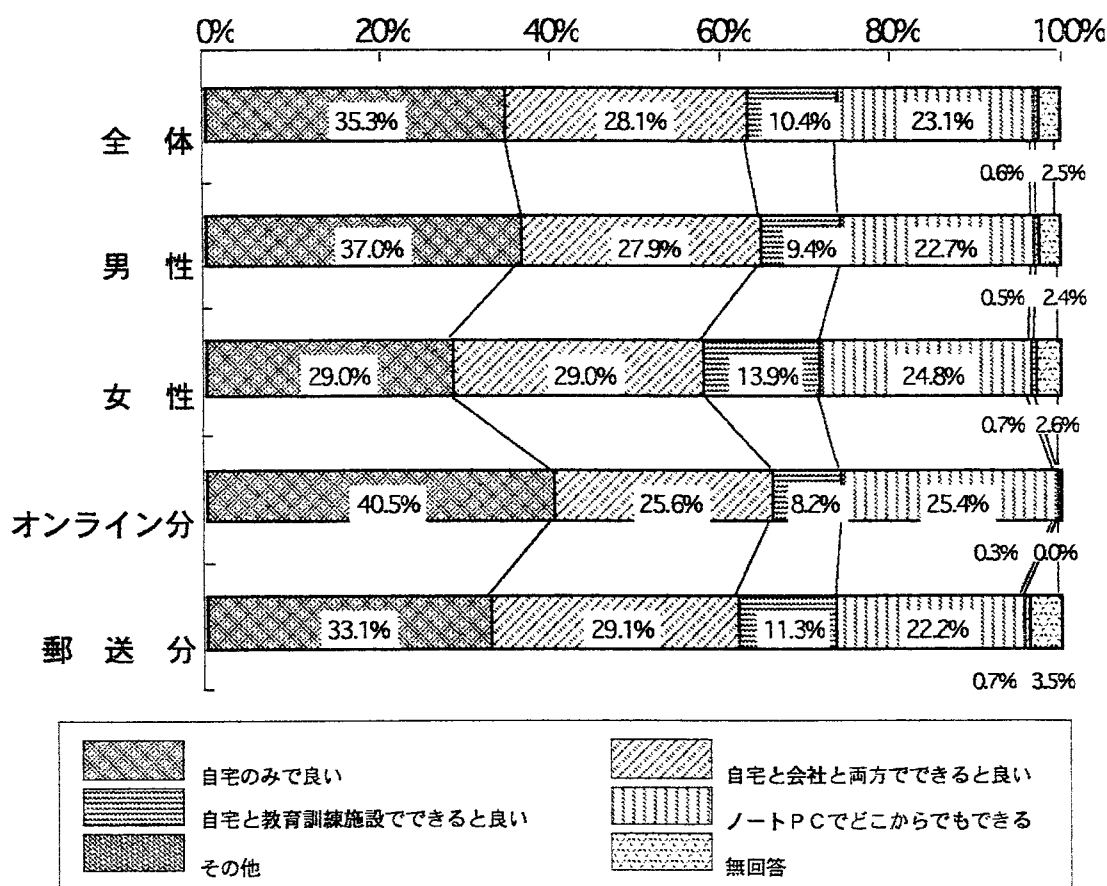


図2-3-26 学習の場所(全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別)

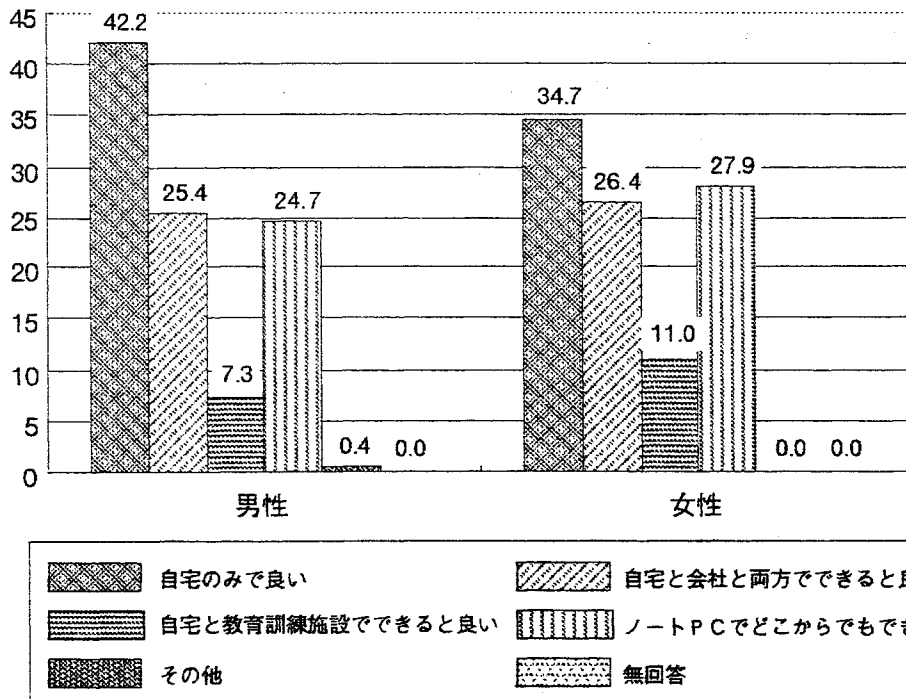


図 2-3-27 学習の場所（オンライン調査の性別）

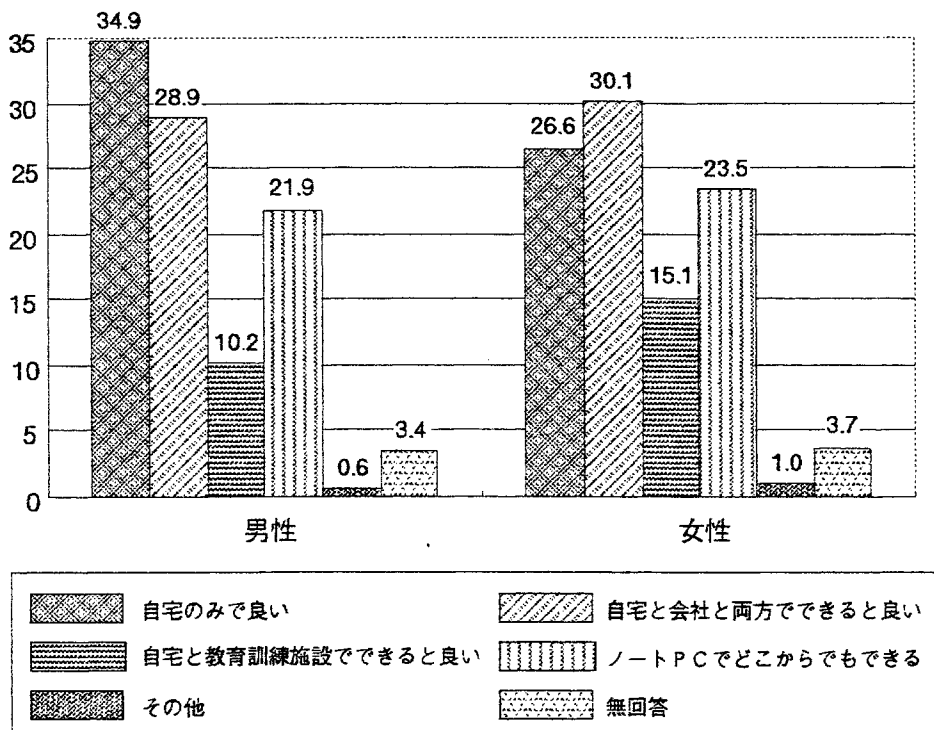


図 2-3-28 学習の場所（郵送調査の性別）

(2) 年齢別の学習場所に関する要望

オンライン調査・郵送調査共に「40～49歳」は「自宅のみで良い」の割合が他の年代に比較して高くなっている。また郵送調査の「50歳以上」はこの割合がさらに高く41.0%となっている。管理・監督職が多い40歳以上の年代では、人にあまり知られずに自宅で自己啓発を行いたいという思考の傾向が他の年代に比べて強いように推察される。

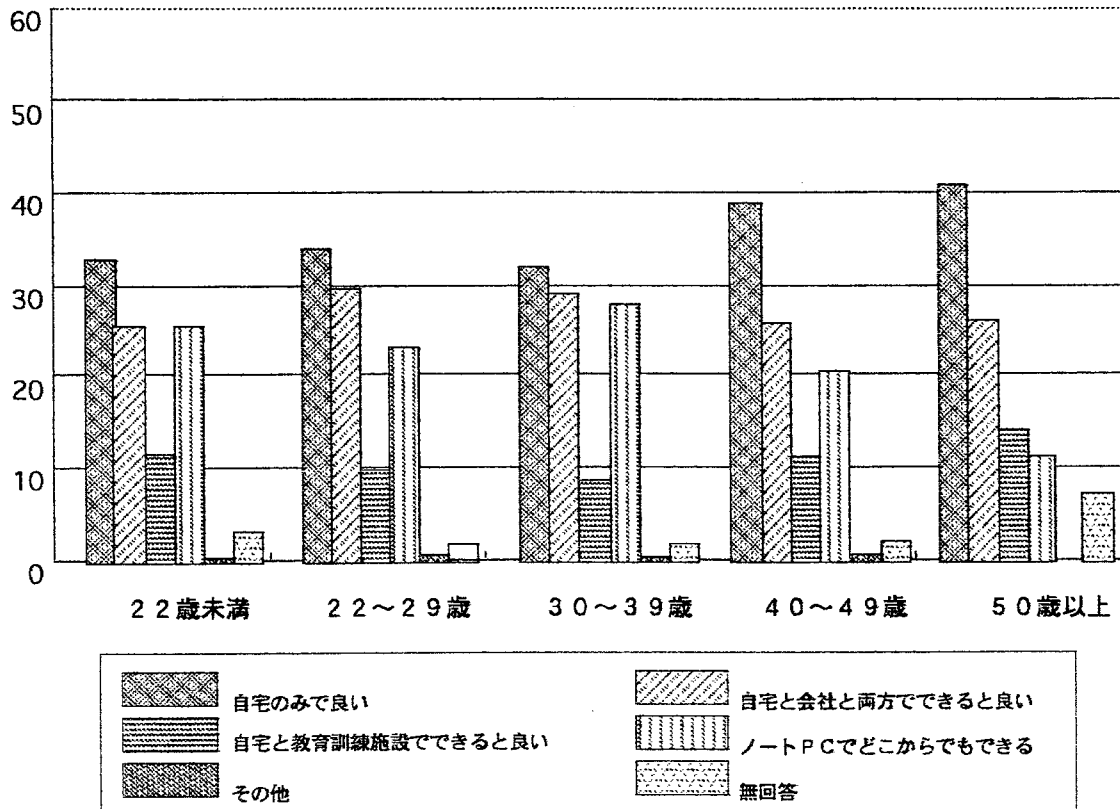


図 2-3-29 学習の場所 (全体の年齢別)

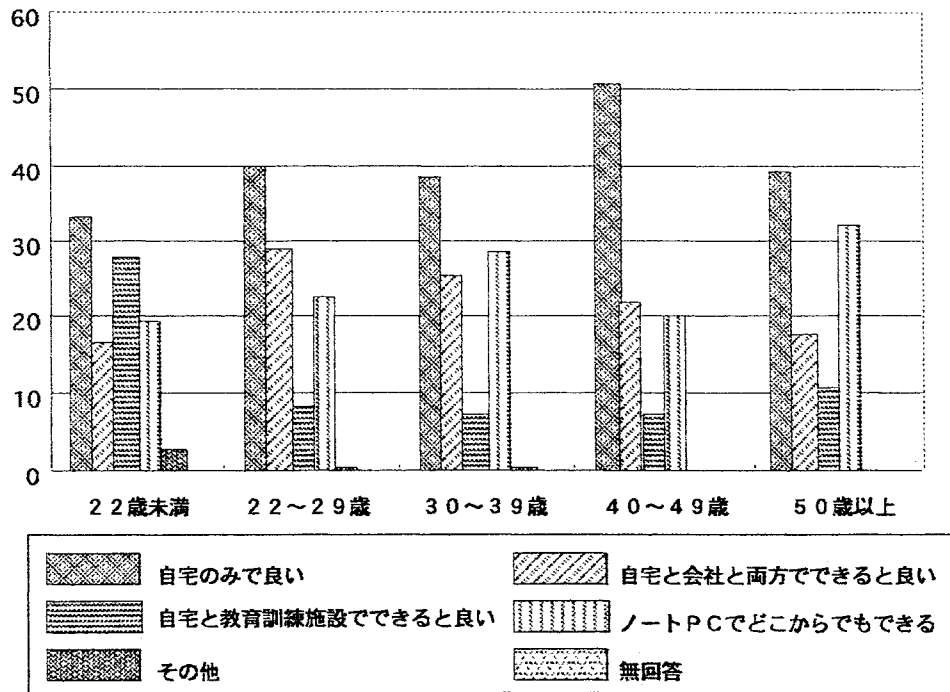


図 2-3-30 学習の場所 (オンライン調査の年齢別)

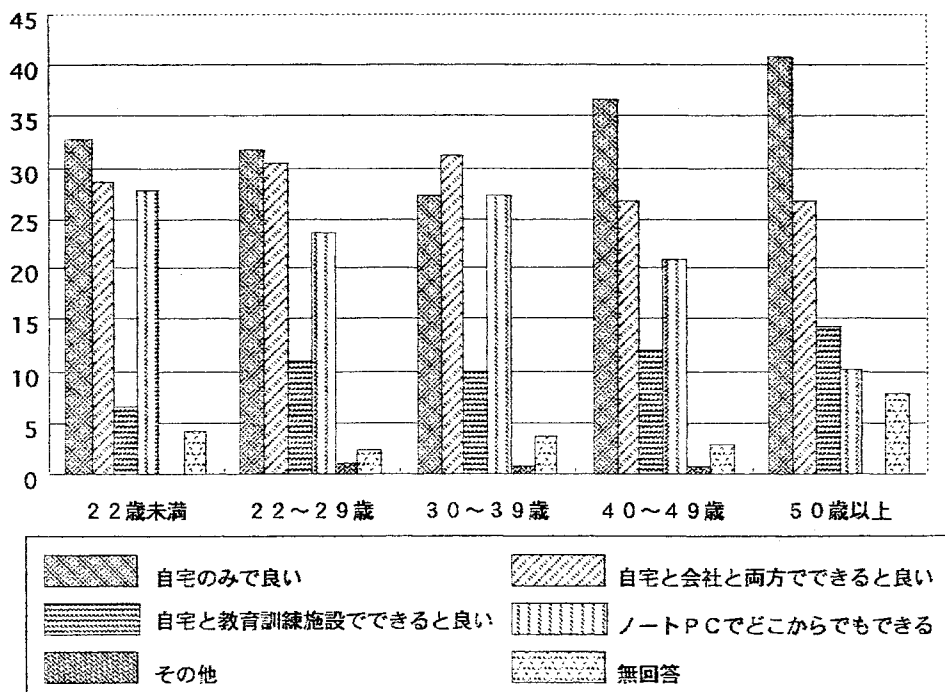


図 2-3-31 学習の場所 (郵送調査の年齢別)

2-3-5 本システムに対する初期投資額

(1) 全体と性別、オンライン調査・郵送調査別の初期投資額

在宅学習システムの利用に必要なパソコンの購入費（または借入費）や回線接続費などの初期投資について支出しても良いという金額を尋ねたものである。まず全体を見ると、「30万円以上」（2.7%）、「20～30万円未満」（7.9%）の二つの階級を除けば「1万円未満」から「10～20万円未満」の5階級でほぼ均等に分布している。性別で見ると、女性は「3～5万円未満」（23.9%）をピークに減少に転じるが、男性は「3～5万円未満」（19.4%）と「5～10万円未満」（18.5%）がほぼ同じ割合で、かつ「10～20万円未満」も15.0%と高いため、女性より高額の初期投資を許容する傾向が見られる。

オンライン調査・郵送調査別ではオンライン調査は先に見たようにパソコンの所有率が高いため、3万円以下の低い負担の割合が高くなっているものと思われる。郵送調査については男性の傾向とほぼ同様になっている。

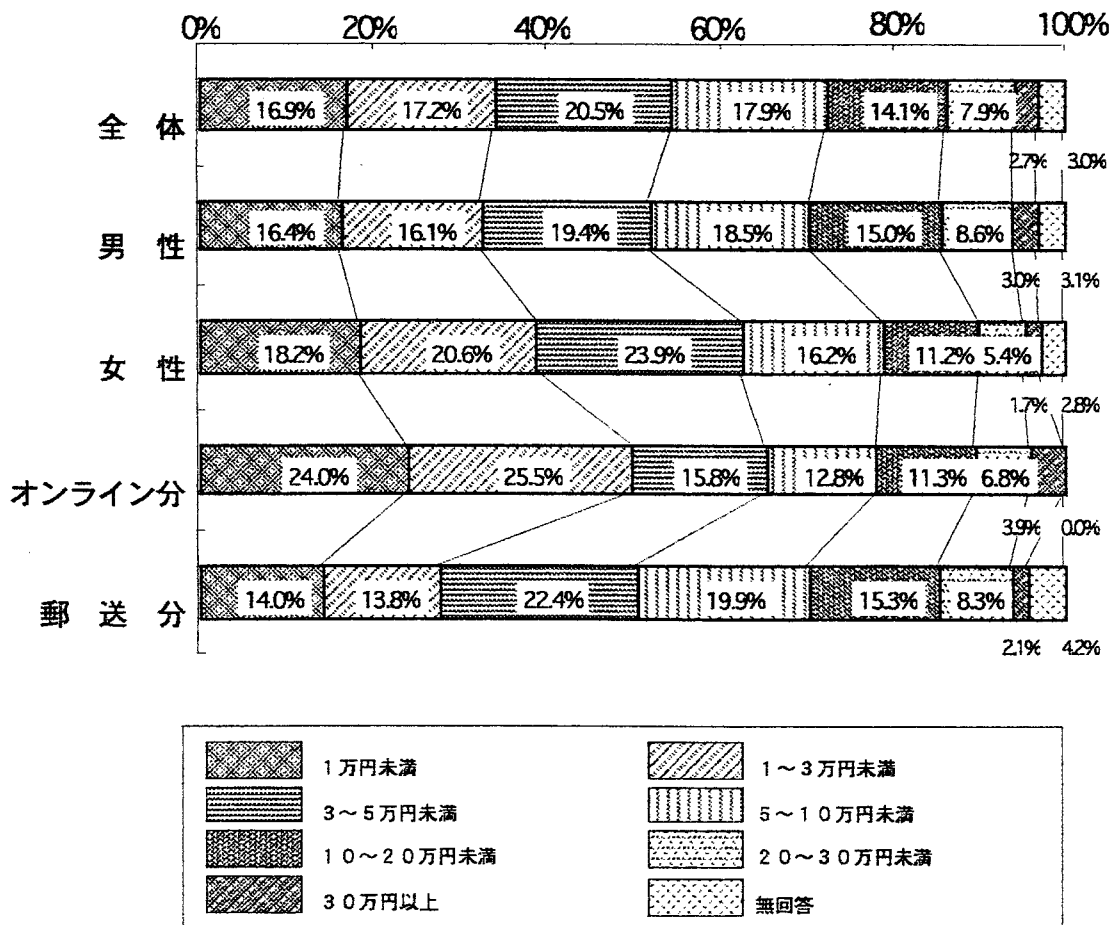


図 2-3-3 2 在宅学習システムに対する初期投資
(全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別)

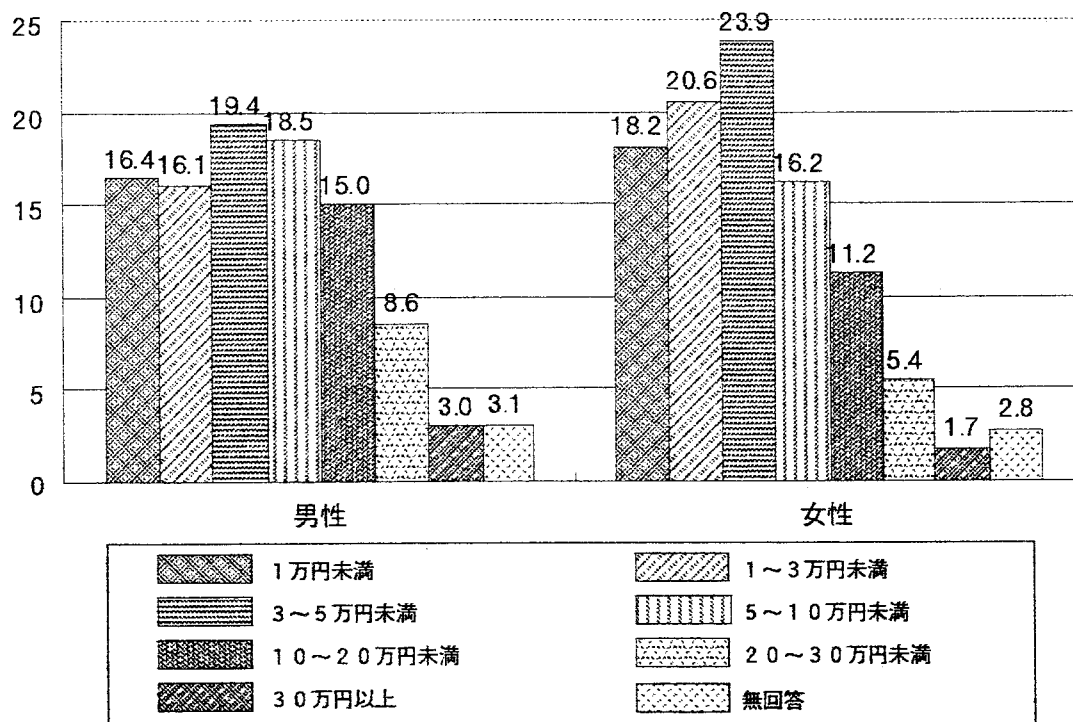


図 2-3-3 在宅学習システムに対する初期投資（全体の性別）

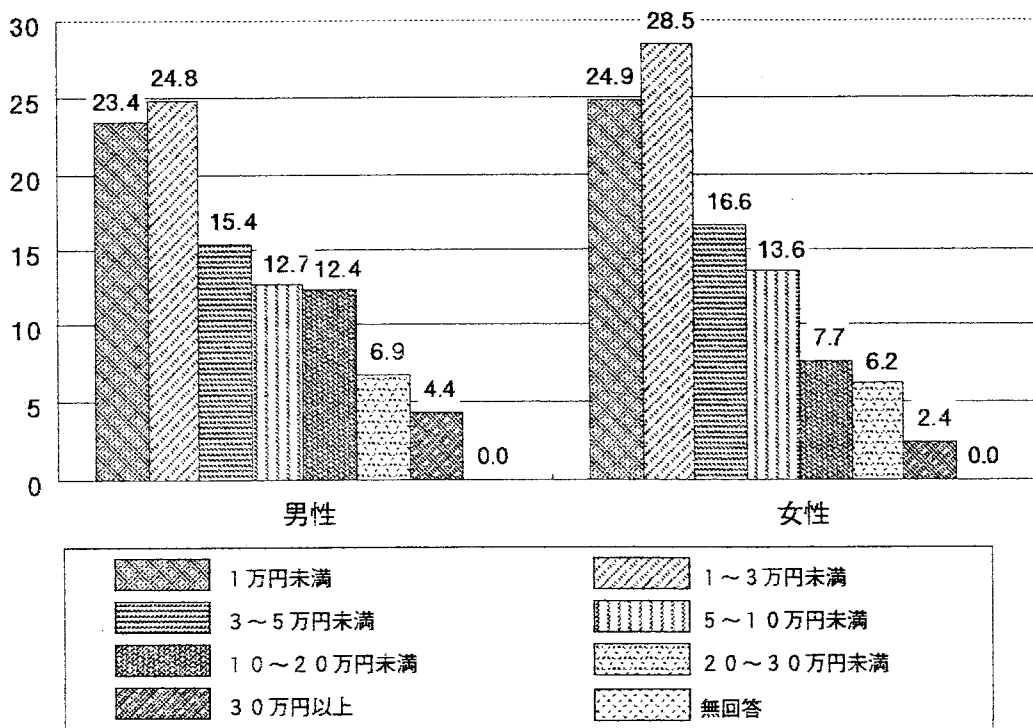


図 2-3-3 4 在宅学習システムに対する初期投資（オンライン調査の性別）

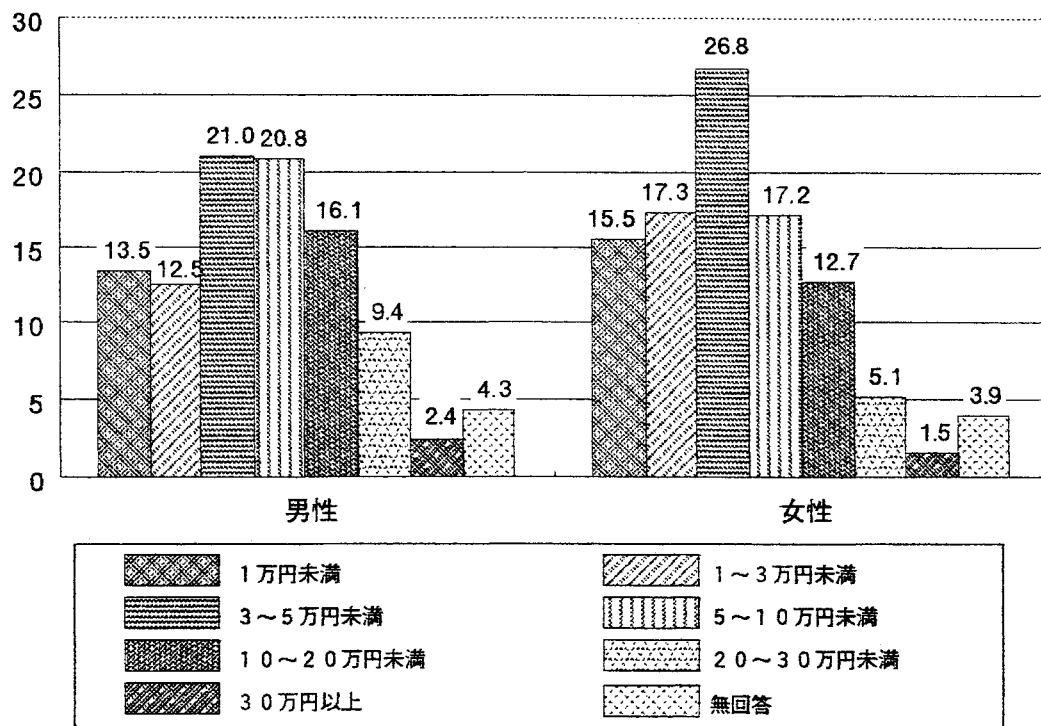


図 2-3-35 在宅学習システムに対する初期投資（郵送調査の性別）

(2) 年齢別の初期投資額

オンライン調査の年齢別分布は「22～29歳」が31.8%、「30～39歳」が47.8%とこの二階級で全体の約80%を占めている。まずこの二階級を見ると、「1万円以下」と「1～3万円未満」の合計は「22～29歳」で過半数の53.5%、「30～39歳」で48.4%と高い割合を示しており、それ以上の負担については急に減少している。これに対し、郵送調査では、「3～5万円未満」について「22歳未満」(26.9%)、「22～29歳」(24.5%)、「30～39歳」(23.6%)の三階級で最も高い割合となっている。さらに「5～10万円未満」については「40～49歳」(22.7%)と「50歳以上」(20.2%)の二階級で最も高い割合となっており、逆に「1万円未満」は1桁の割合に低下している。

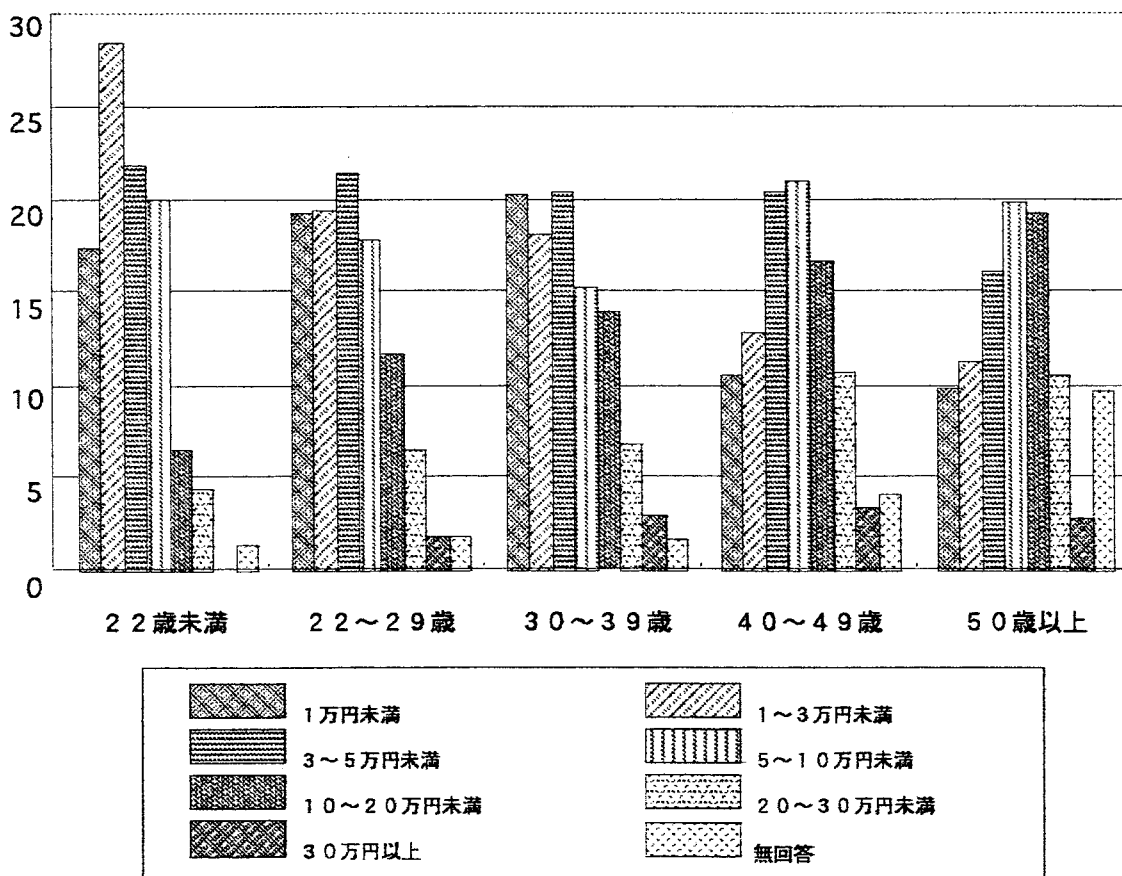


図 2-3-36 在宅学習システムに対する初期投資（全体の年齢別）

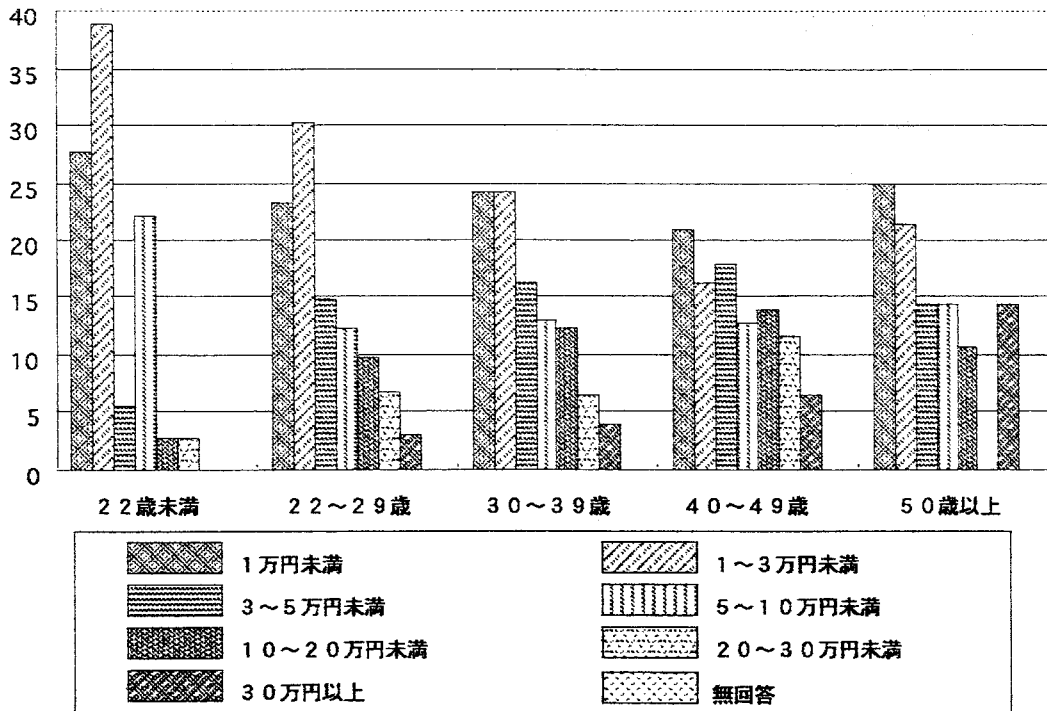


図 2-3-37 在宅学習システムに対する初期投資（オンライン調査の年齢別）

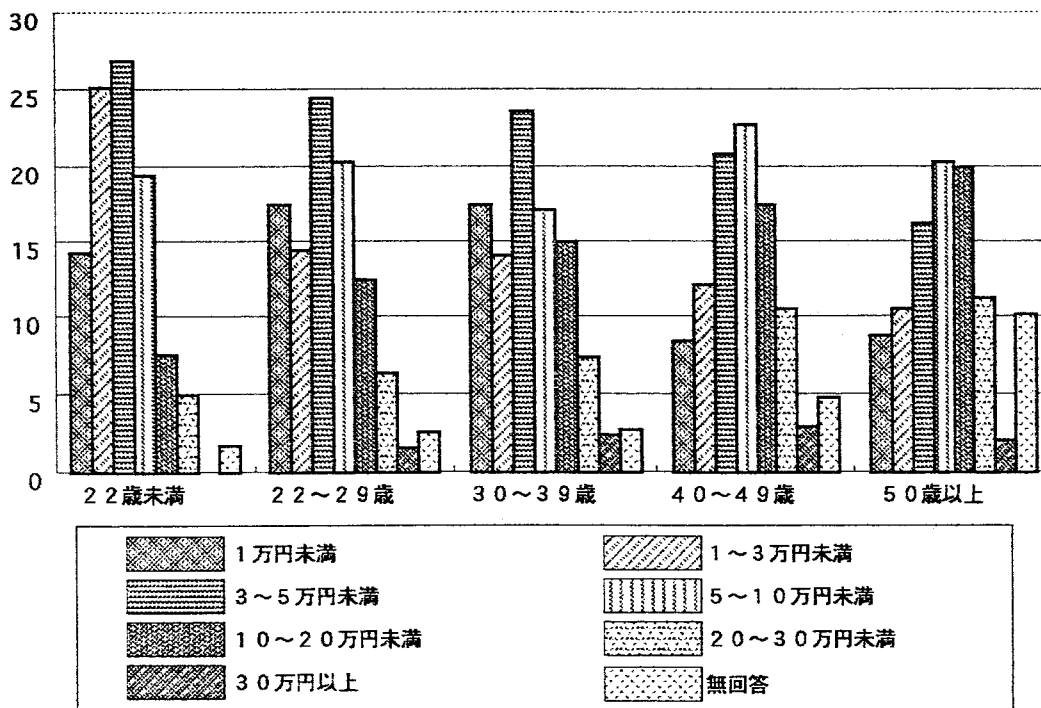


図 2-3-38 在宅学習システムに対する初期投資（郵送調査の年齢別）

2-3-6 通信費、受講費等の月額費用

(1) 全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別の月額費用

在宅学習をするために毎月必要な通信費、受講費（学習教材利用費等）はいくらぐらいまで負担しても良いかを尋ねたものである。まず全体を見ると「3,000円未満」が22.2%、「3,000～5,000円未満」が38.7%、「5,000円～10,000円未満」が27.7%の割合で、この三階級で全体の88.6%となっている。性別で見ると、女性は「3,000～5,000円未満」の割合が42.1%と高く、逆に「3,000円未満」は17.9%と低くなっている。オンライン調査・郵送調査別で見ると、オンライン調査の「3,000円未満」の割合が25.9%とやや高くなっているものの、他の階級については全体とほぼ同様の割合となっている。毎月のランニングコストが10,000円以上となると、受講者獲得は厳しくなると言えそうである。

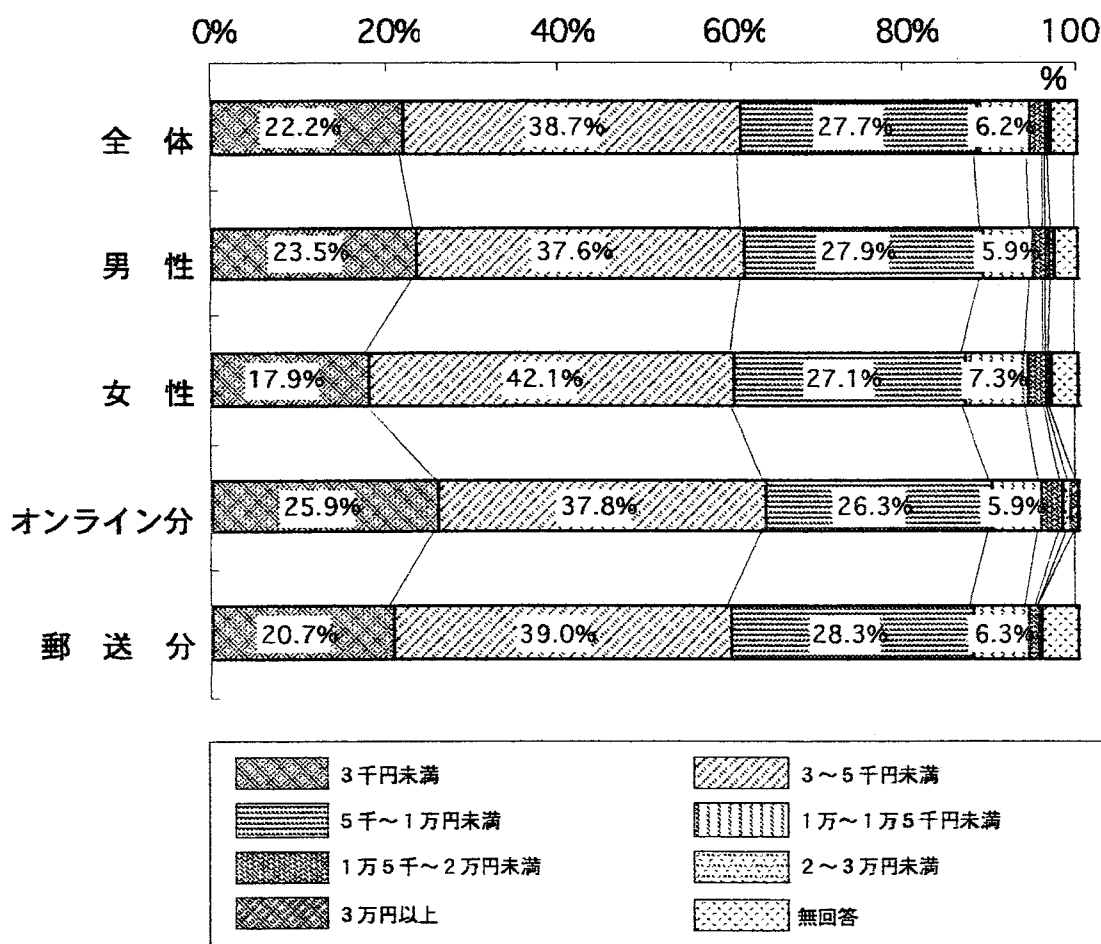


図2-3-39 通信費、受講費等の月額費用（全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別）

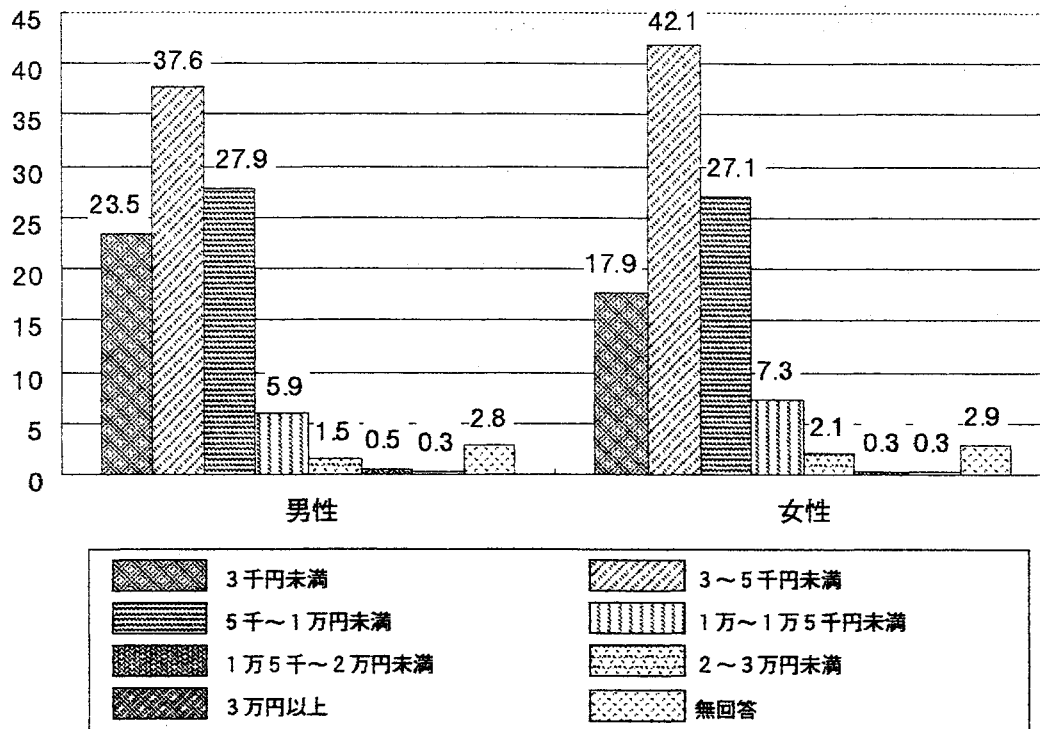


図 2-3-40 通信費、受講費等の月額費用（全体の性別）

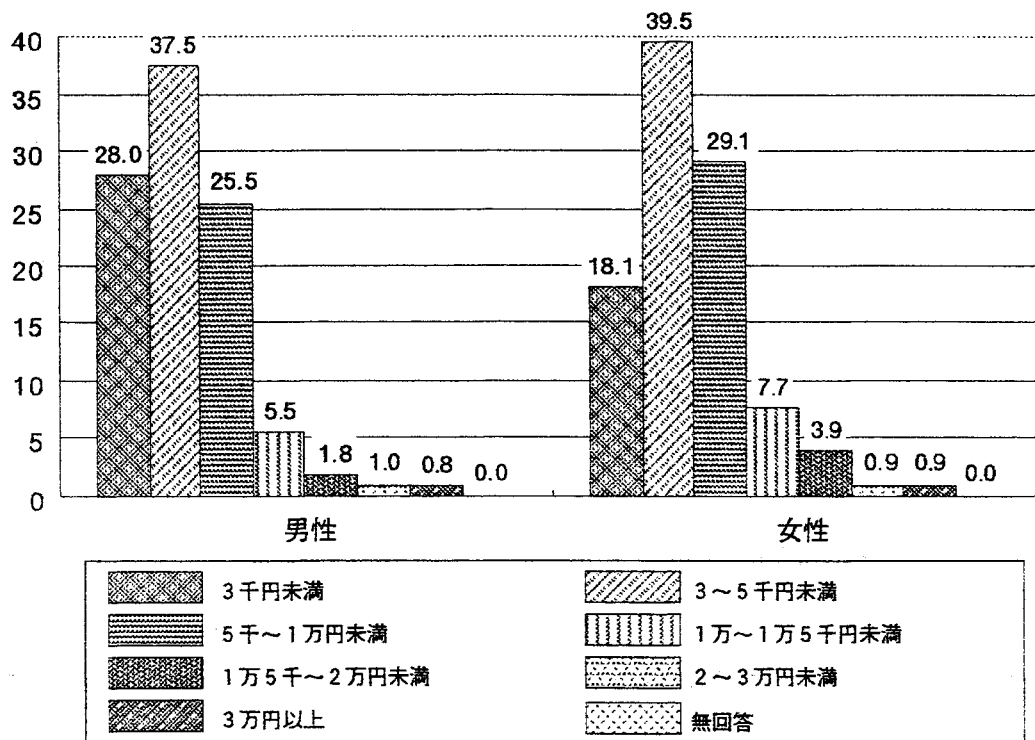


図 2-3-41 通信費、受講費等の月額費用（オンライン調査の性別）

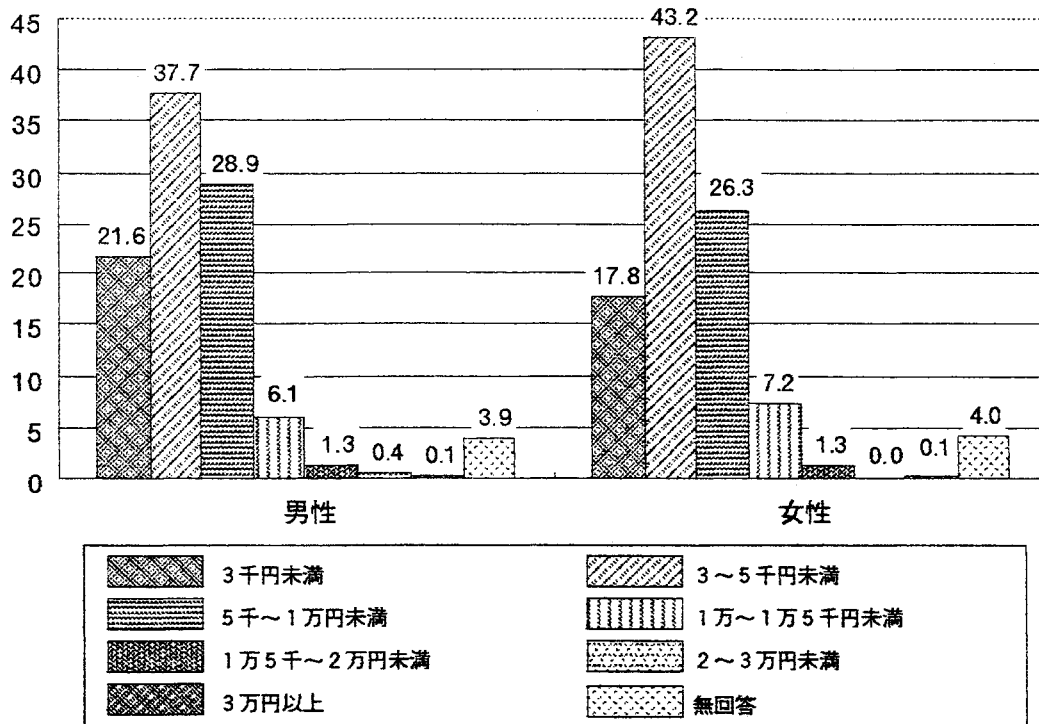


図 2-3-4 2 通信費、受講費等の月額費用（郵送調査の性別）

(2) 年齢別の月額費用

郵送調査のみ見ると、「50歳以上」を除き、他の階級は全て「3,000～5,000円未満」が最も高い割合であり、「3,000円未満」と「5,000円～10,000円未満」は二番目または三番目の割合となっている。「50歳以上」については「5,000円～10,000円未満」の割合が38.2%と高く、前述の女性の傾向と似ている。

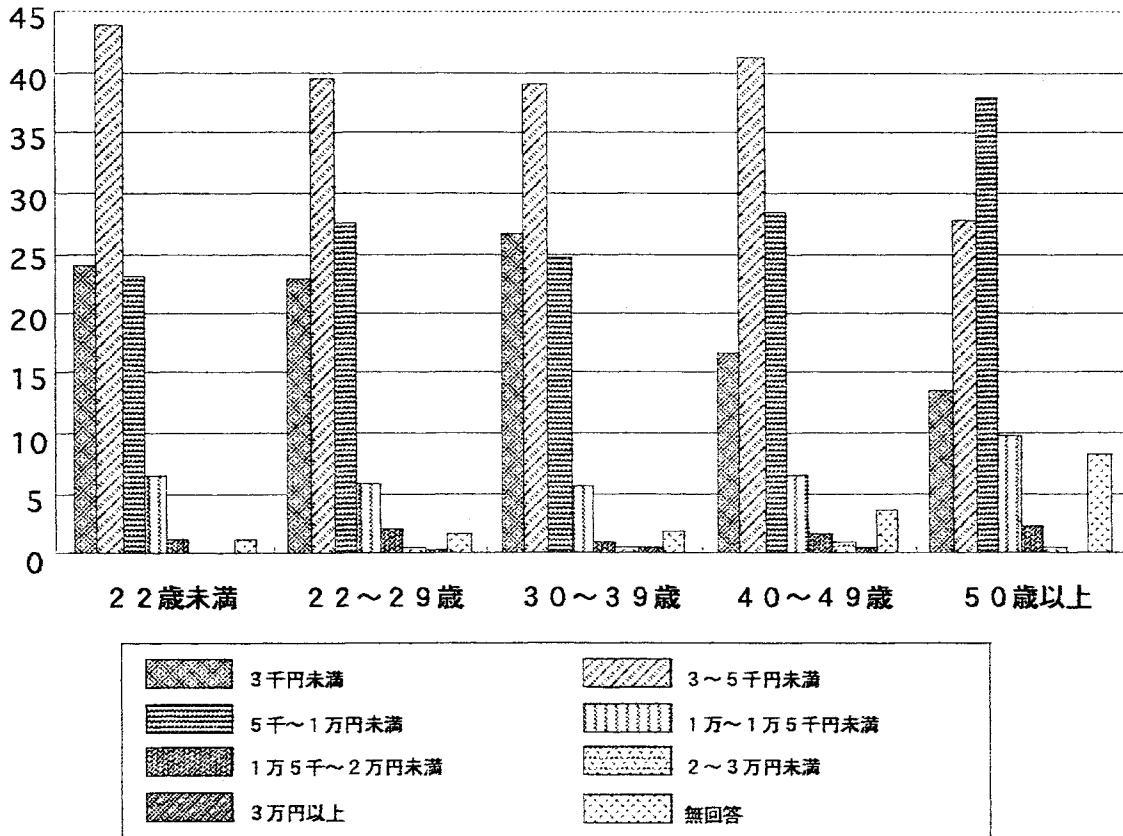


図2-3-43 通信費、受講費等の月額費用（全体の年齢別）

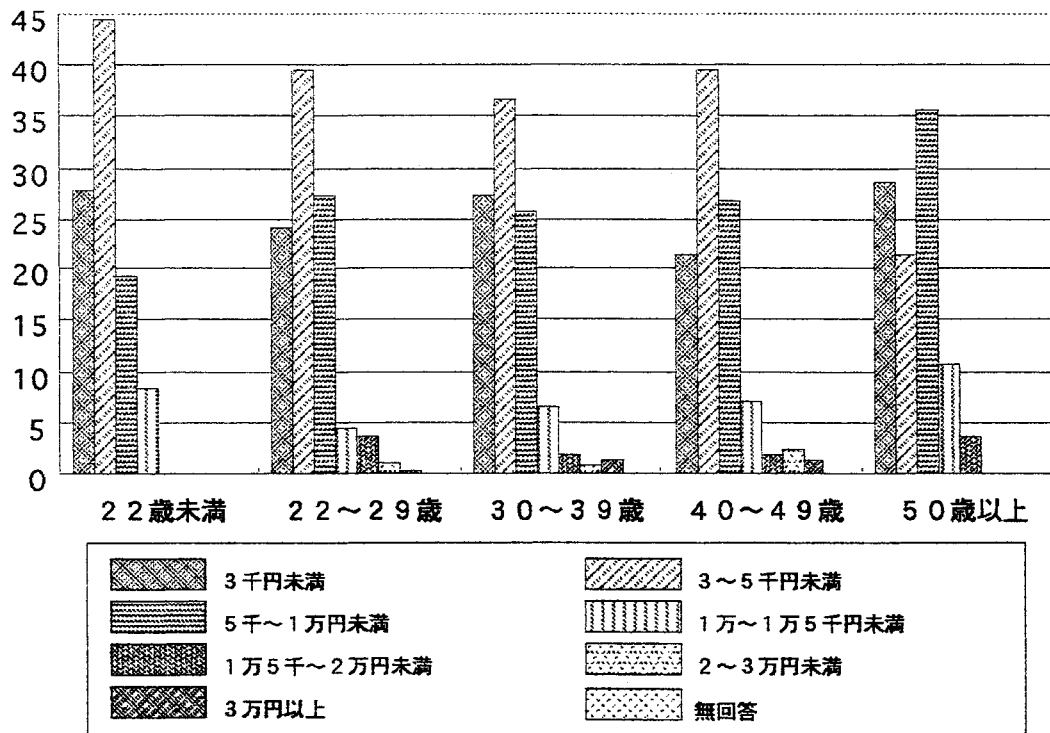


図 2-3-4 4 通信費、受講費等の月額費用（オンライン調査の年齢別）

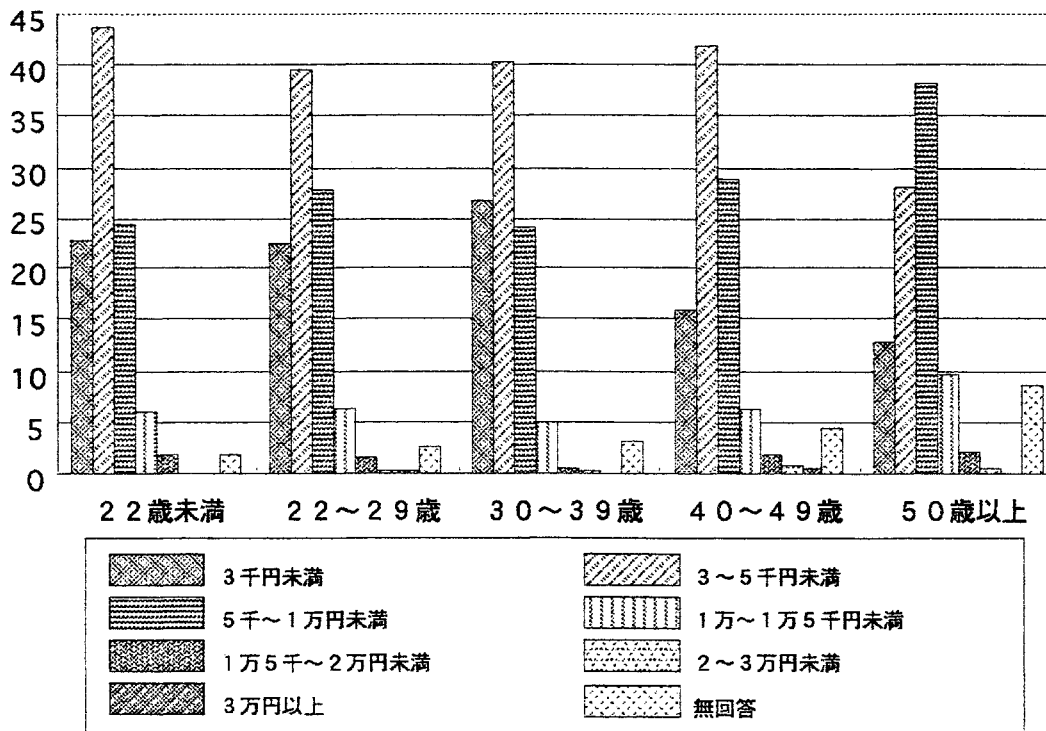


図 2-3-4 5 通信費、受講費等の月額費用（郵送調査の年齢別）

(3) 地域別の月額費用

郵送調査のみで見ると、いずれの地域においても「3,000～5,000円未満」が最も高い割合となっているが、「5,000円～10,000円未満」については「近畿」(32.9%)、「南関東」(31.1%)、「北関東」(30.8%)がそれぞれ「3,000円未満」を大幅に上回る割合となっている。これに対し、「北海道・東北」、「中国・四国」、「九州・沖縄」は「3,000円未満」の割合がいずれも20%を超えており、前者の三地域と後者の三地域とではやや傾向に差が見られる。

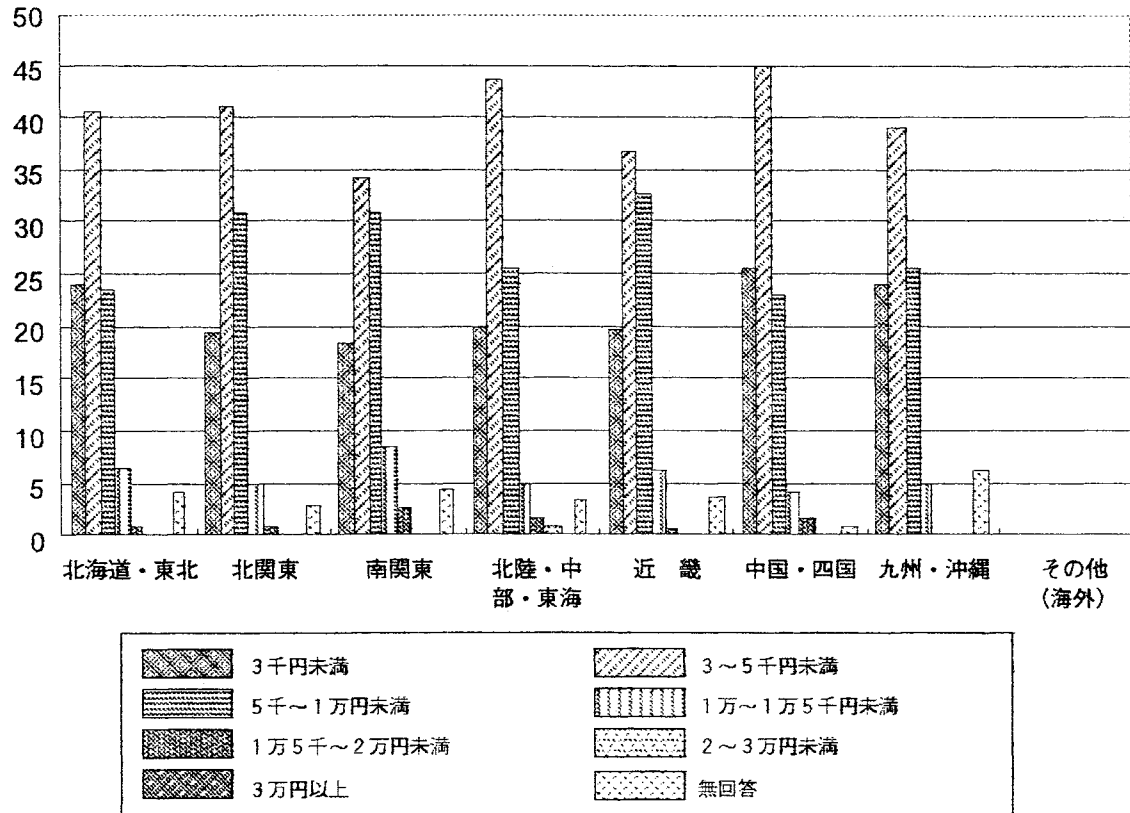


図2-3-46 通信費、受講費等の月額費用 (郵送調査の地域別)

2-3-7 ネットワークに関する要望

在宅学習システムで利用するネットワークについて希望の種類を尋ねたものである。この設問は、郵送調査において「無回答」が10.0%あり、また「その他」(5.2%) 回答者の自由記述で「回線のことは分からない」、「現時点では判断出来ない」等の指摘も多く、難解であったと思われる。従って結果はあくまでも参考程度にとどめる事とし、グラフを見ると、オンライン調査では「パソコン通信を使用した方が良い」が44.8%の割合で最も高く、「インターネットを使用した方が良い」は37.5%の割合で次に高い。これに対し郵送調査では「インターネットを使用した方が良い」の割合が最も高く48.1%、「パソコン通信を使用した方が良い」は18.0%となっている。

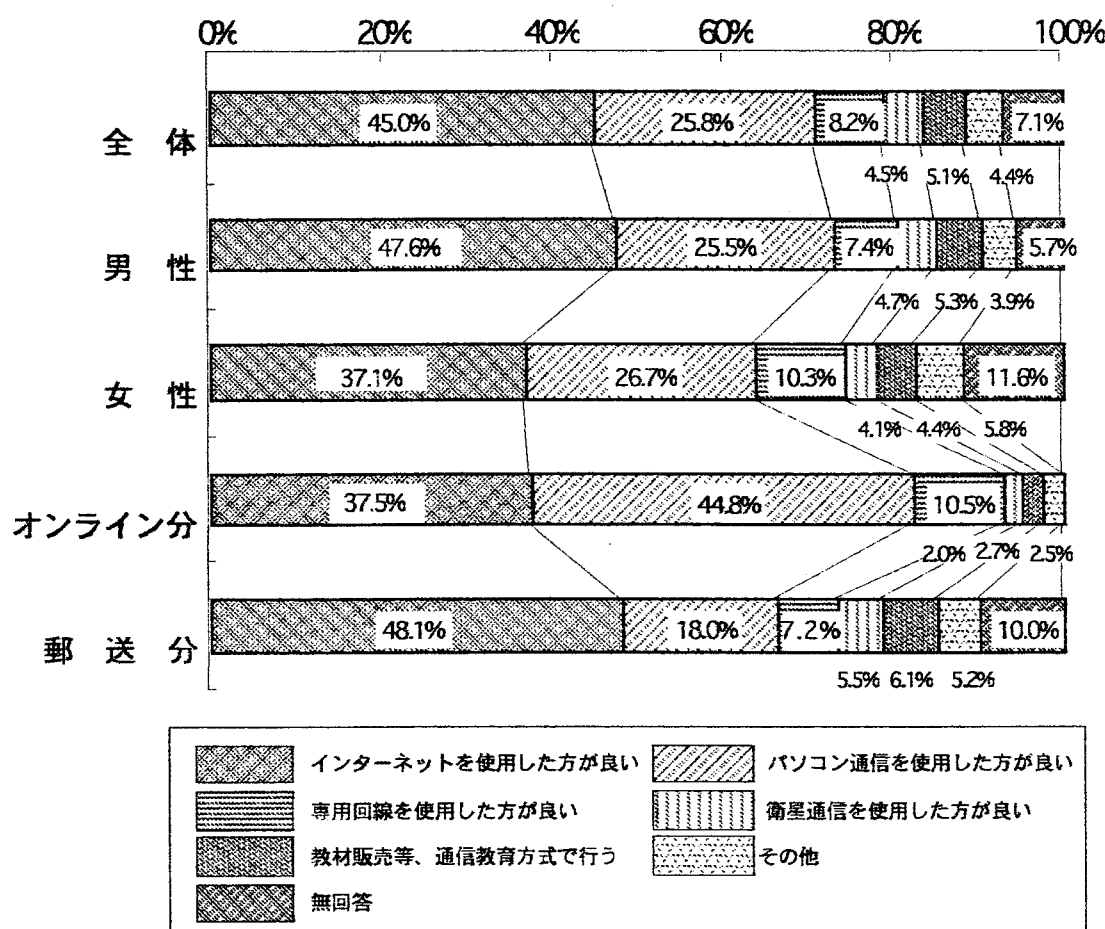


図 2-3-47 ネットワークに関する要望（全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別）

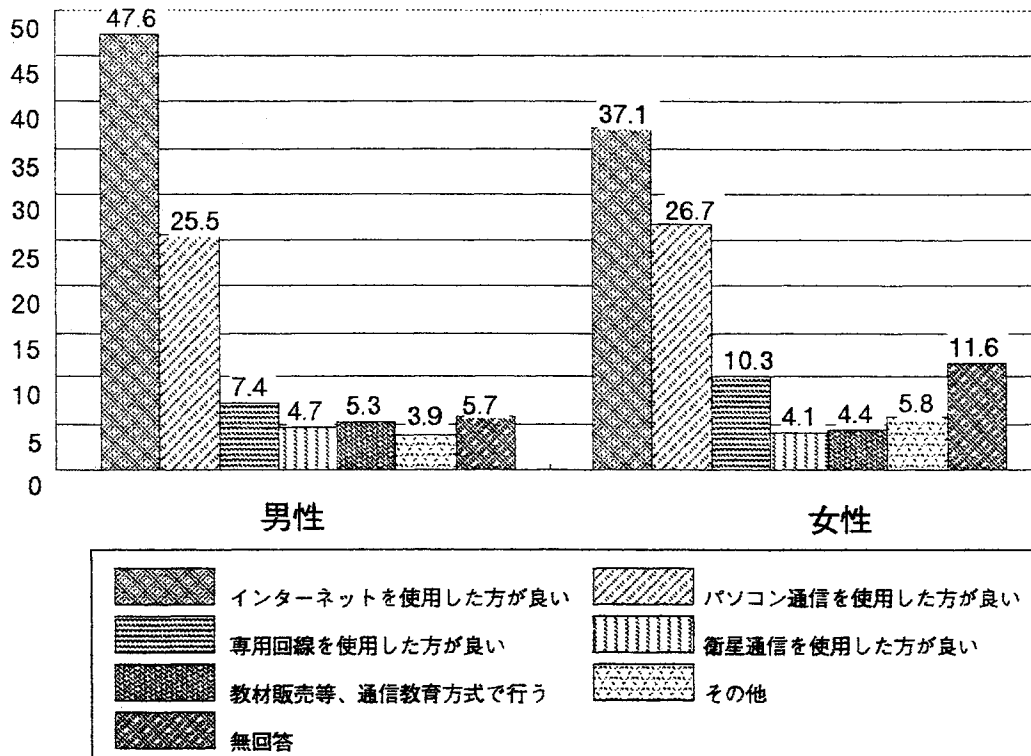


図 2-3-48 ネットワークに関する要望（全体の性別）

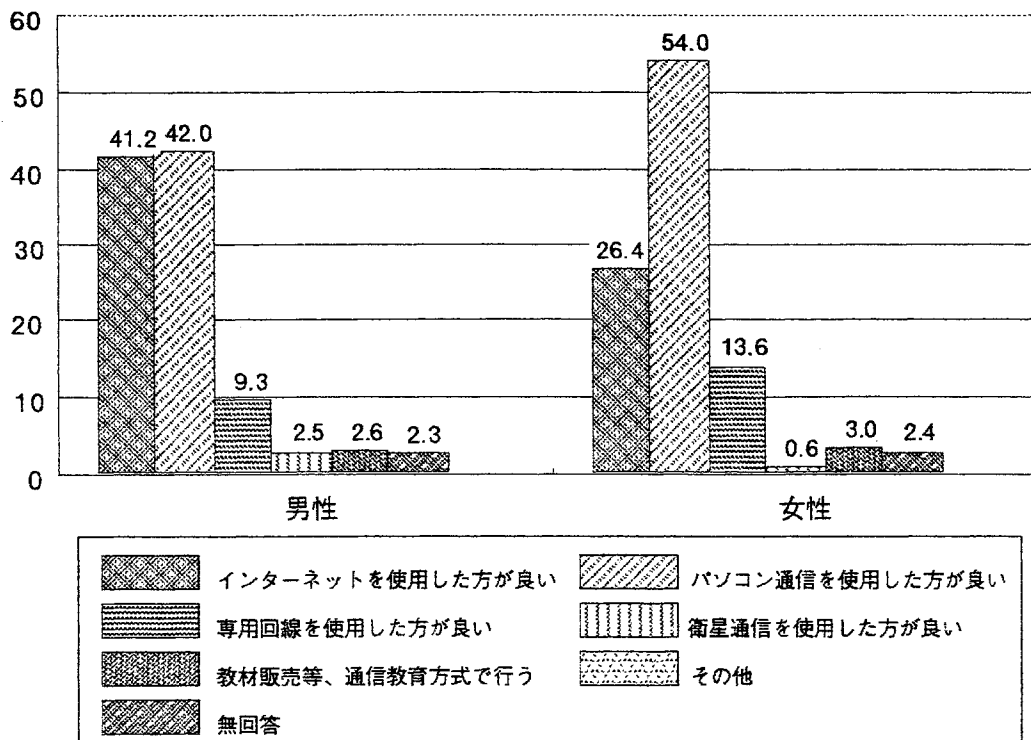


図 2-3-49 ネットワークに関する要望（オンライン調査の性別）

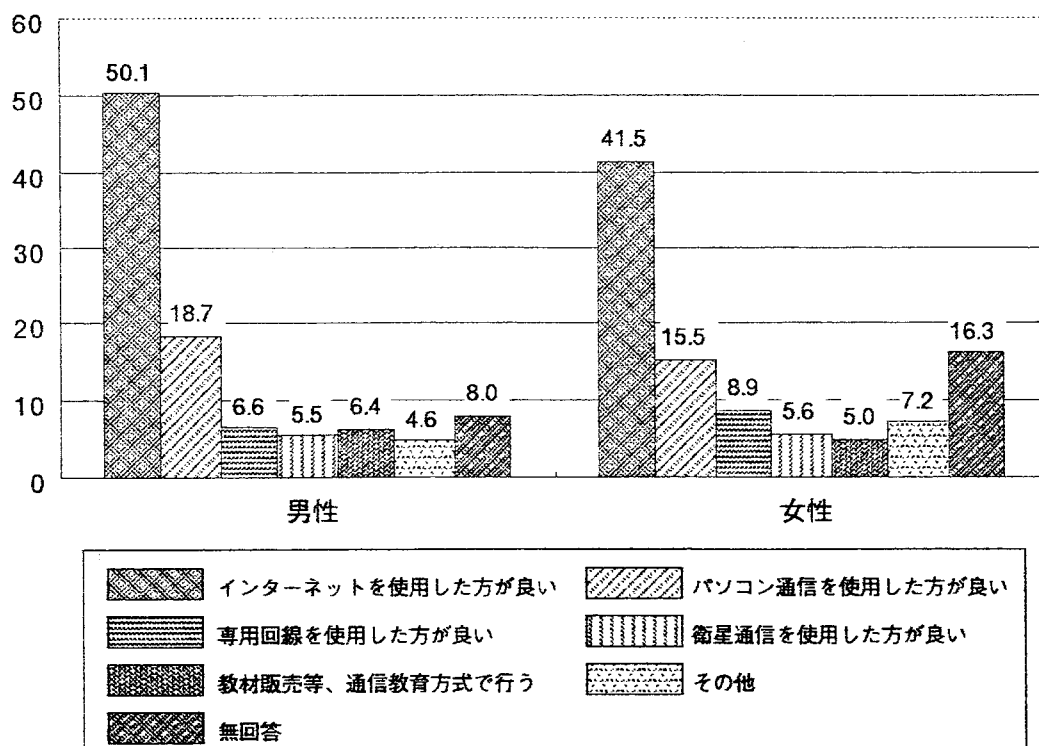


図 2-3-50 ネットワークに関する要望（郵送調査の性別）

2-3-8 教材に関する要望

(1) 全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別の教材に関する要望

教材について、内容は学習者のニーズに適合するものと仮定した上で、その重視すべき機能や形態について尋ねたものである。まず全体を見ると、最も割合が高いのは「画像（動画・静止画）、音声を重視すべきである」の46.1%、次が「自学自習のための機能（CAI等）を重視すべきである」の39.0%で、この両者で85.1%を占めている。性別で見ると、女性では無回答と「その他」の合計が8.2%あり、設問の内容が理解出来なかった者も存在したと見られるが、男性と比較してほぼ同様の傾向といえる。

オンライン調査・郵送調査別では、オンライン調査における「自学自習のための機能（CAI等）を重視すべきである」の割合が45.7%で最も高く、「画像（動画・静止画）、音声を重視すべきである」（42.9%）を上回っている。これに対し郵送調査では男女共「画像（動画・静止画）、音声を重視すべきである」の割合が47.4%と高く、「自学自習のための機能（CAI等）を重視すべきである」の割合は36.3%となっている。郵送調査では、男性の「その他」と無回答の合計も7.6%あり、ある程度の知識や経験がないと判断がつかない難しい質問であったことが窺い知れる。

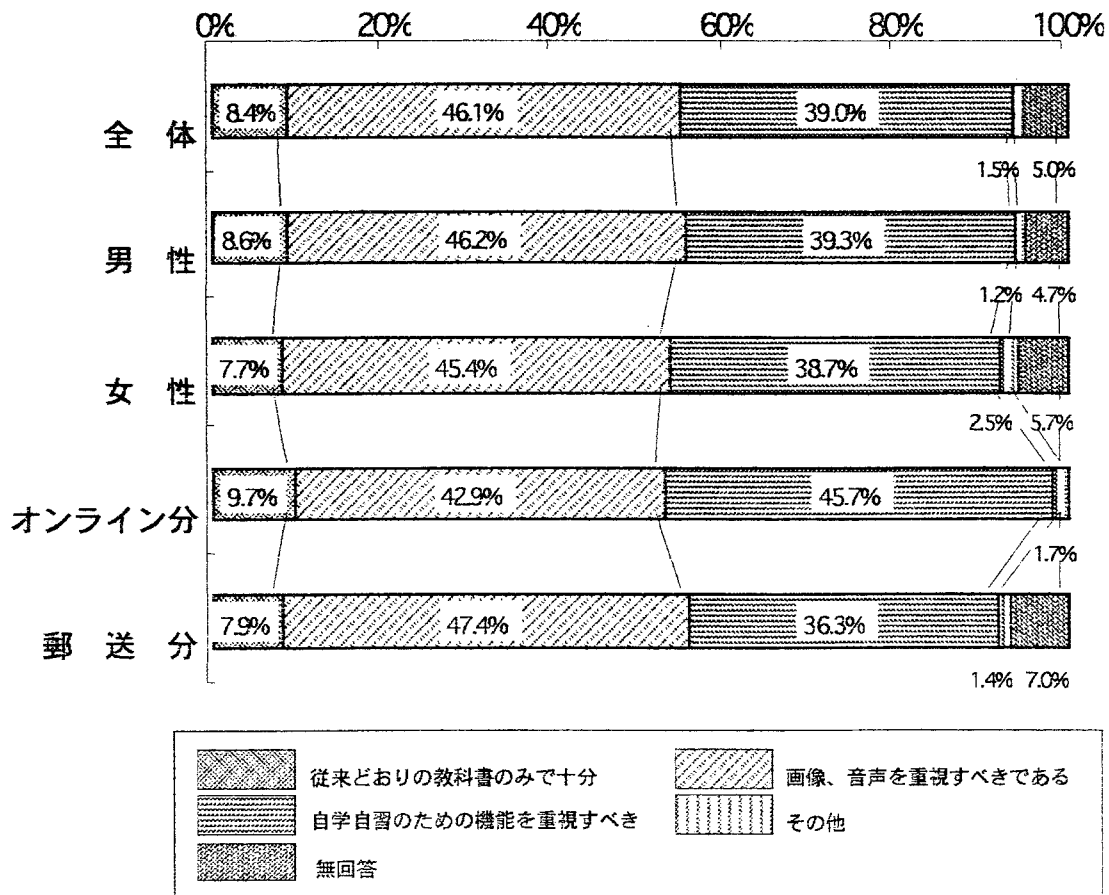


図2-3-51 教材に関する要望（全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別）

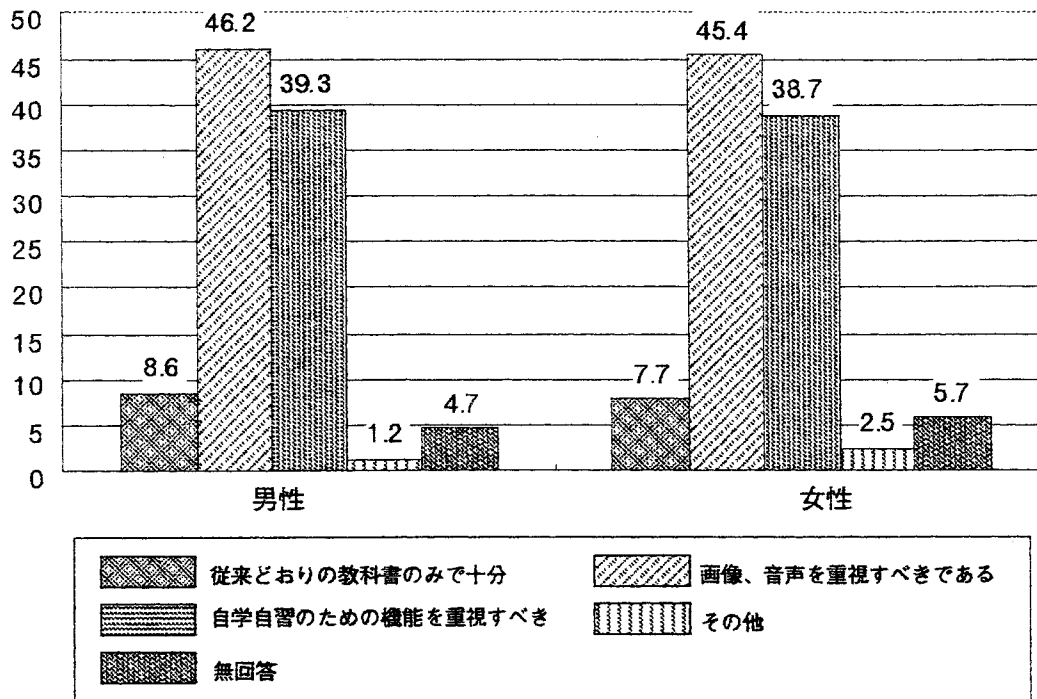


図 2-3-5 2 教材に関する要望（全体の性別）

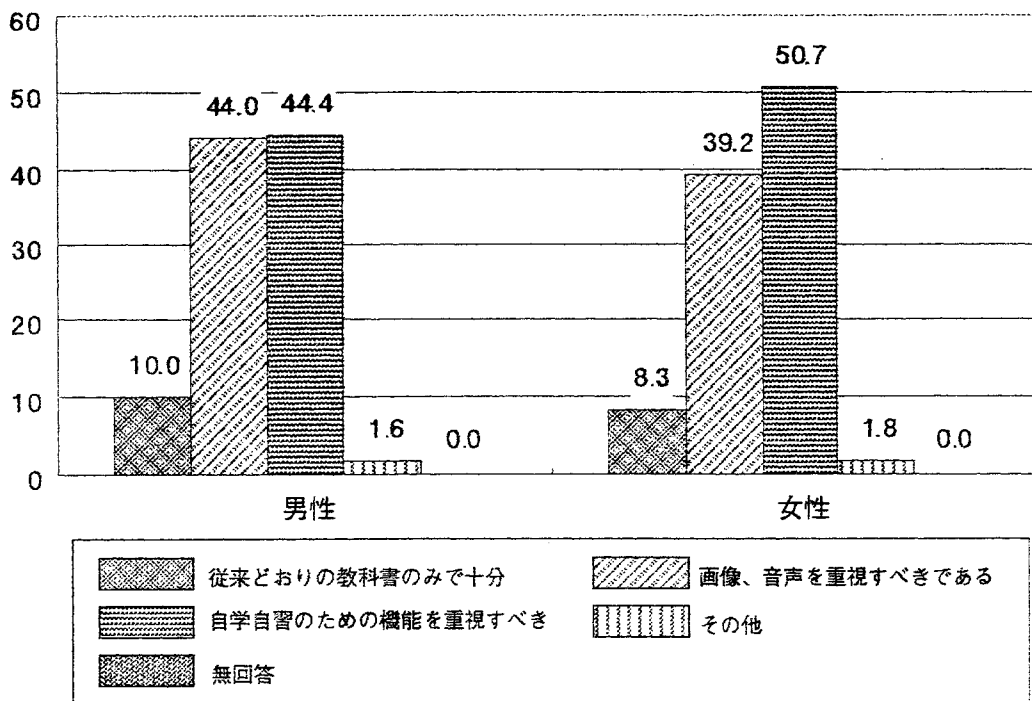


図 2-3-5 3 教材に関する要望（オンライン調査の性別）

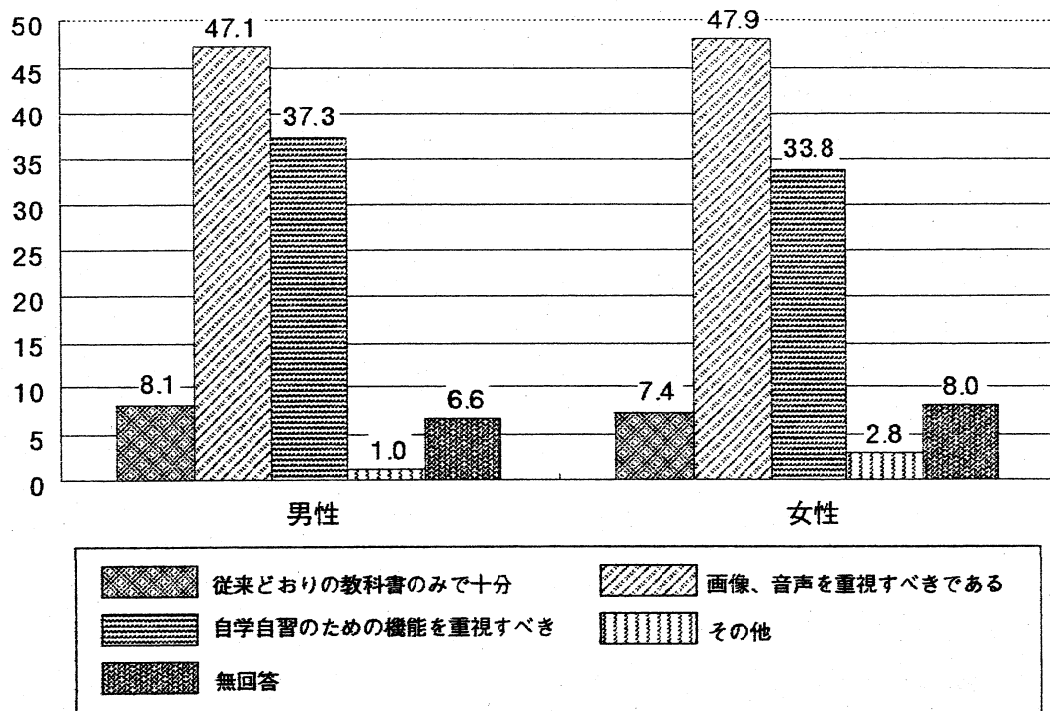


図 2-3-54 教材に関する要望（郵送調査の性別）

(2) 年齢別の教材に関する要望

オンライン調査について見ると、「20～29歳」及び「30～39歳」では「自学自習のための機能(CAI等)を重視すべきである」の割合がそれぞれ44.5%、48.5%で最も高く、「画像(動画・静止画)、音声を重視すべきである」を僅差ながら上回っている。この年代はちょうどパソコン通信サービスのメインユーザー層であり、先に記したネットワークの種類でも「パソコン通信を使用した方が良い」が「インターネットを使用した方が良い」を上回っている。また、仮にインターネットを使用しても、通信インフラの整備と利用料金低廉化等が進まないと、画像特に動画等を扱うにはまだ無理があるとの判断が影響しているのではないかと推察される。

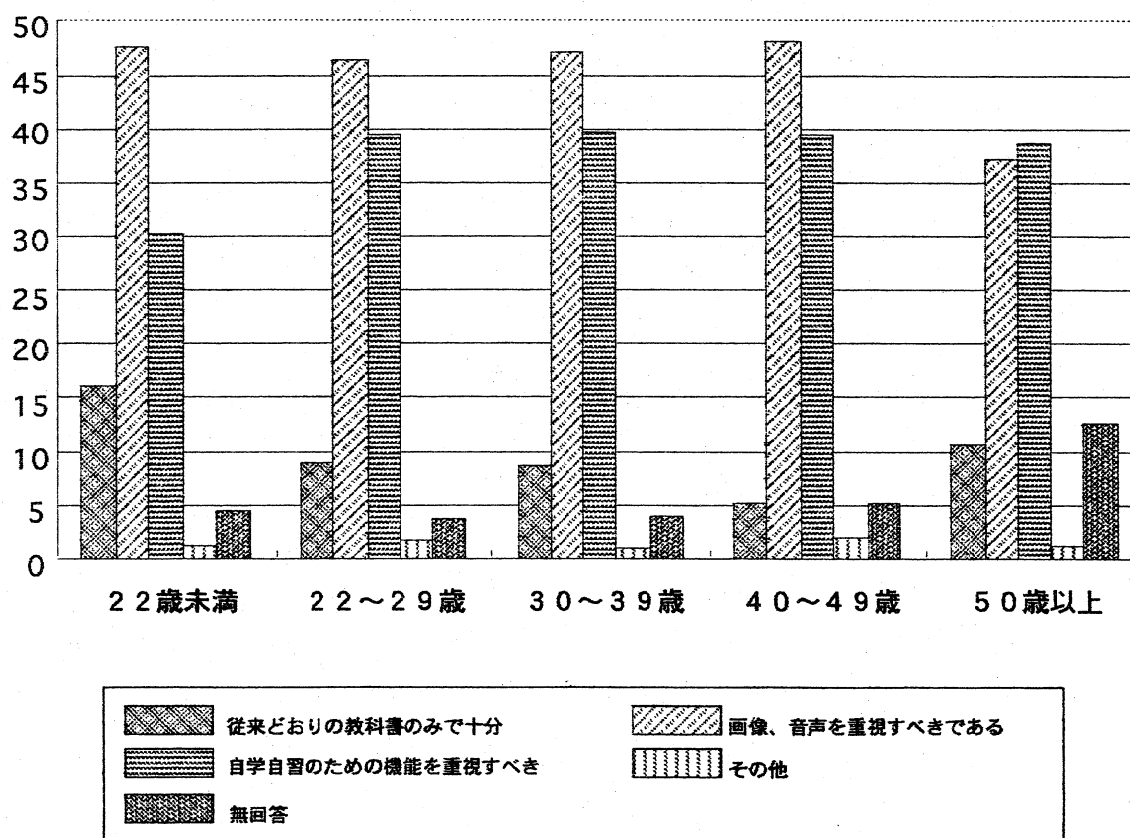


図 2-3-55 教材に関する要望 (全体の年齢別)

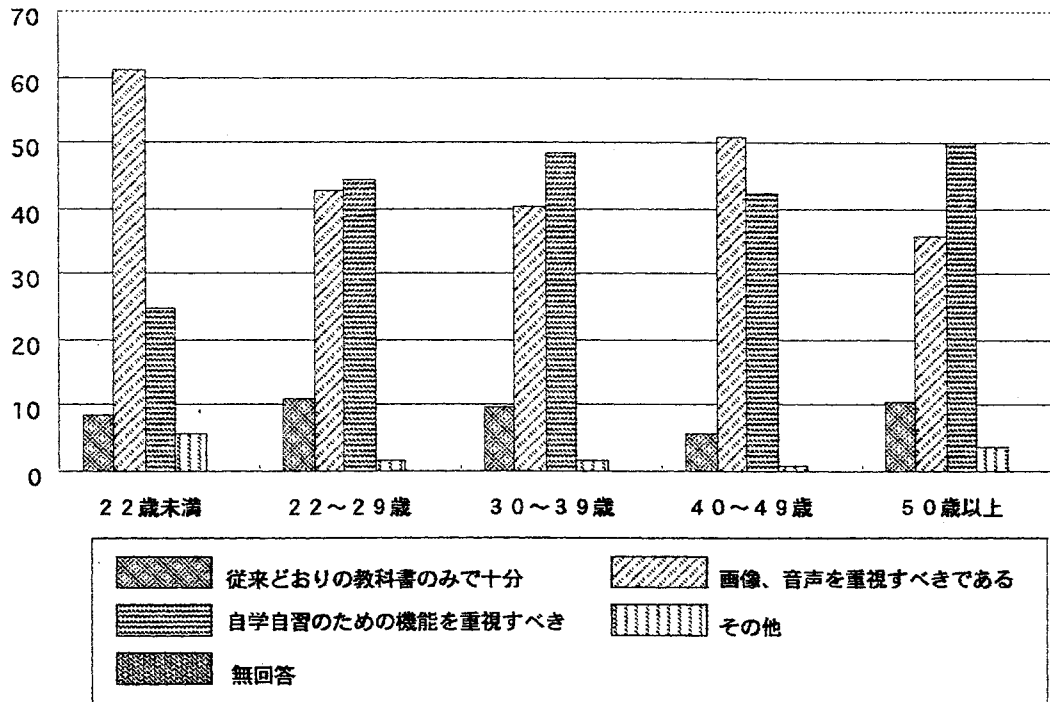


図 2-3-56 教材に関する要望 (オンライン調査の年齢別)

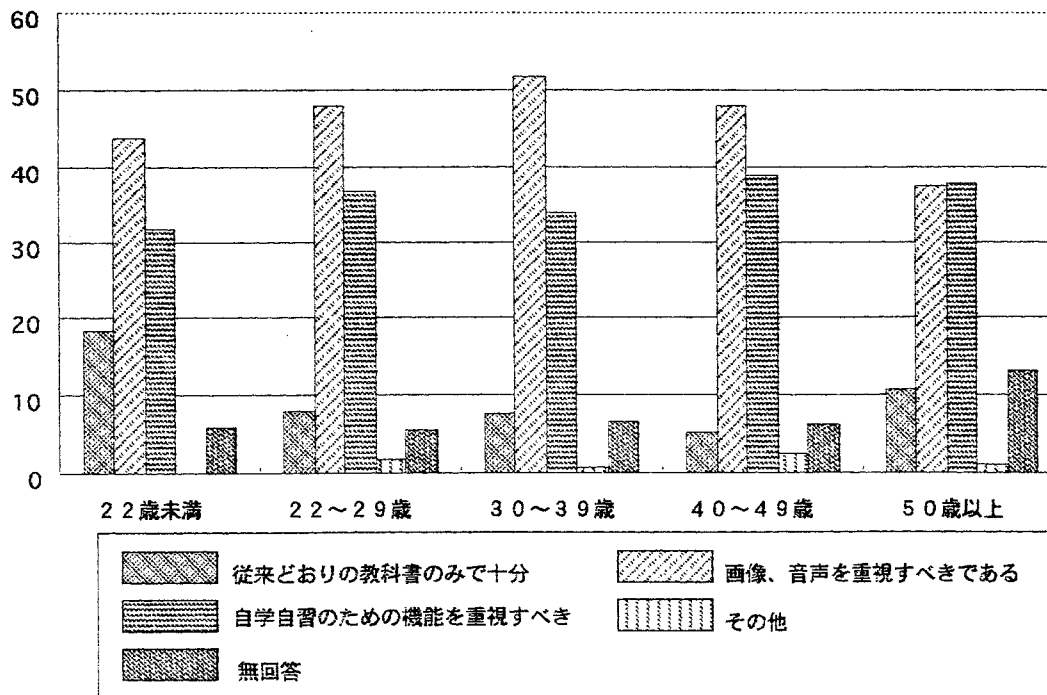


図 2-3-57 教材に関する要望 (郵送調査の年齢別)

2-3-9 面接指導（スクーリング）に関する要望

(1) 全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別のスクーリングに関する要望

スクーリングの方式や形態について尋ねたものである。まず全体を見ると、割合が高い順に、「ネットワークを利用し、質問、相談事項を送信すると翌日には回答が来る通信添削形式」（26.6%）、「ネットワークを利用した一対一の対話形式」（23.9%）、「他の受講者と一緒に集まっの集合指導」（16.2%）、「直接講師のいる場所における個別指導」（14.2%）、「ネットワークを利用し他の受講者も入るグループディスカッション形式」（13.6%）となっている。性別で見るとやや差が認められるのが「ネットワークを利用し他の受講者も入るグループディスカッション形式」で男性の割合が14.3%に対し、女性は11.5%と低くなっている。オンライン調査と郵送調査別では「ネットワークを利用し、質問、相談事項を送信すると翌日には回答が来る通信添削形式」で差があり、オンライン調査の割合が32.7%と高いのに対し、郵送調査では24.1%と低い。郵送調査では「ネットワークを利用した一対一の対話形式」が24.8%で最も高い割合となっている。もともとオンライン調査と郵送調査では、コンピュータ及びネットワークに関して基本的レディネスで大きな差はあるが、ここでは電子メール、データ伝送等に対する知識や経験の差が影響しているものと思われる。

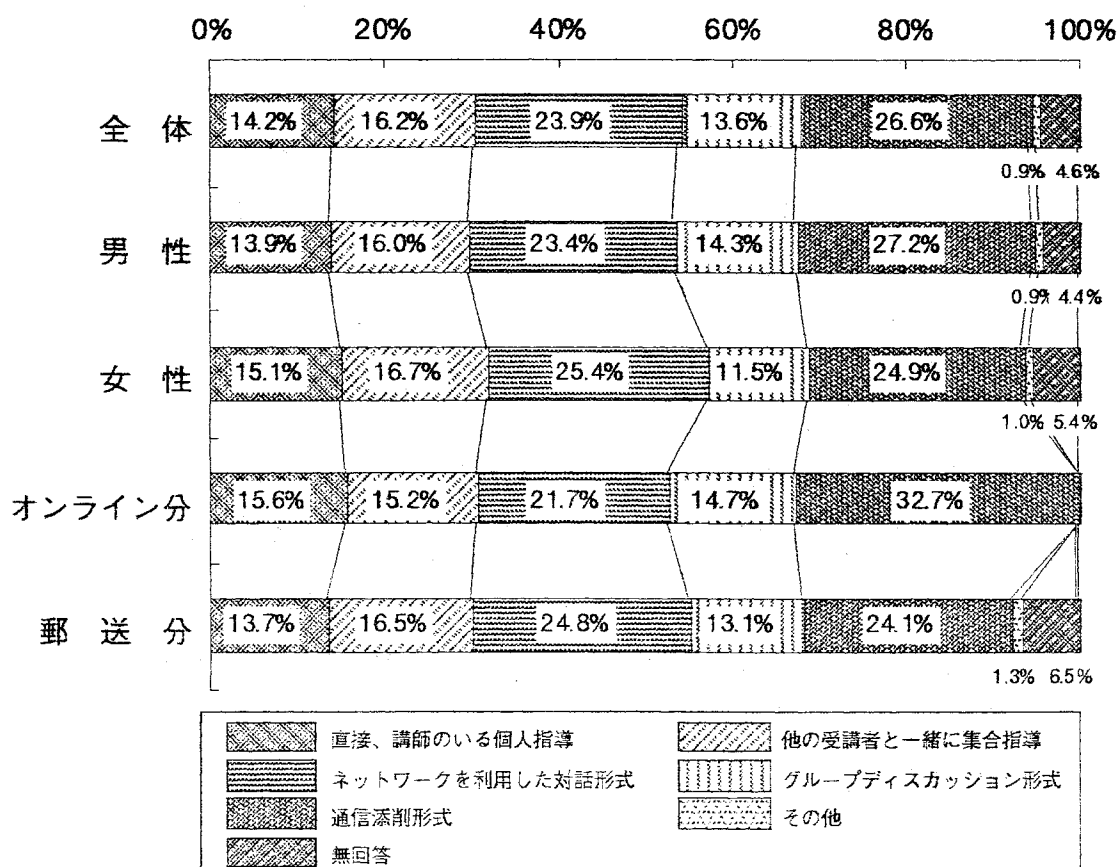


図 2-3-5 8 面接指導に関する要望（全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別）

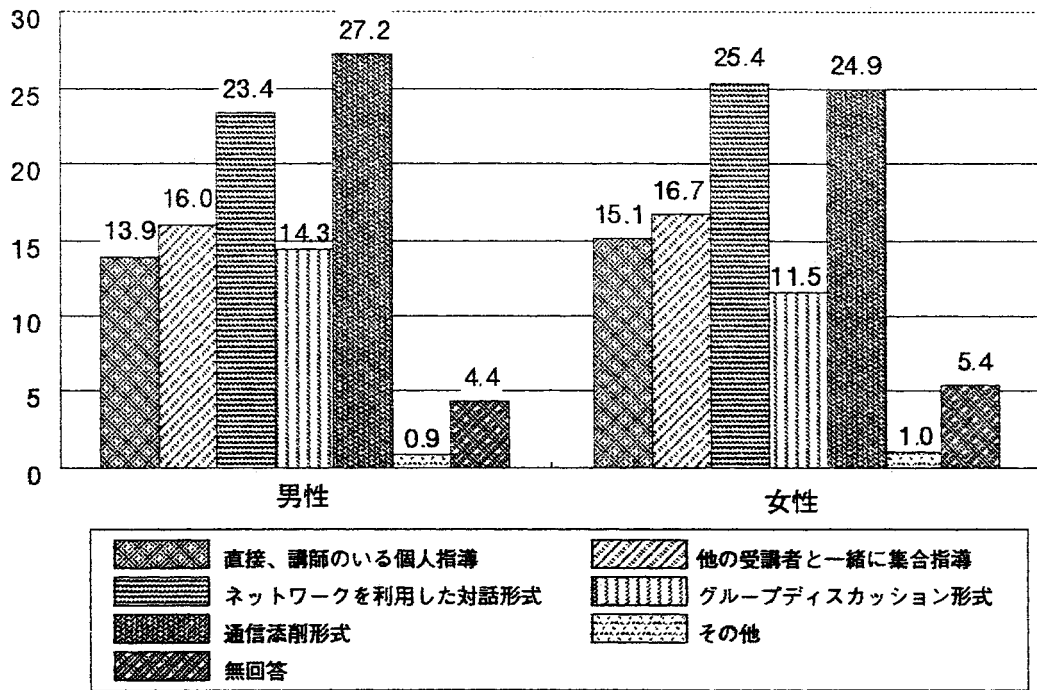


図 2-3-59 面接指導に関する要望（全体の性別）

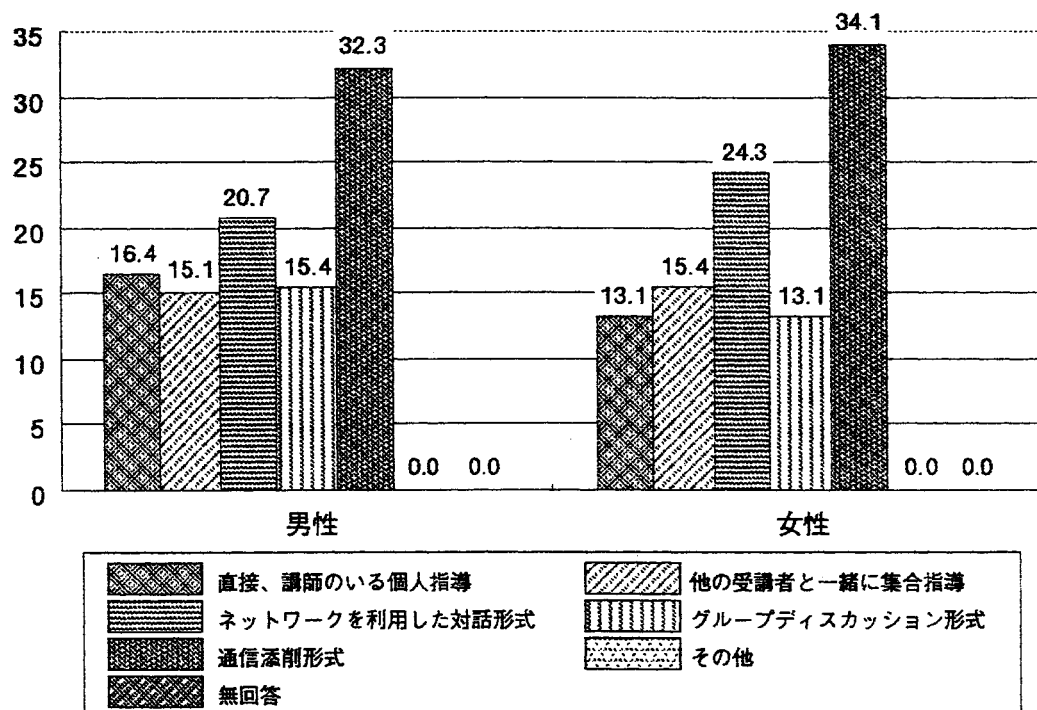


図 2-3-60 面接指導に関する要望（オンライン調査の性別）

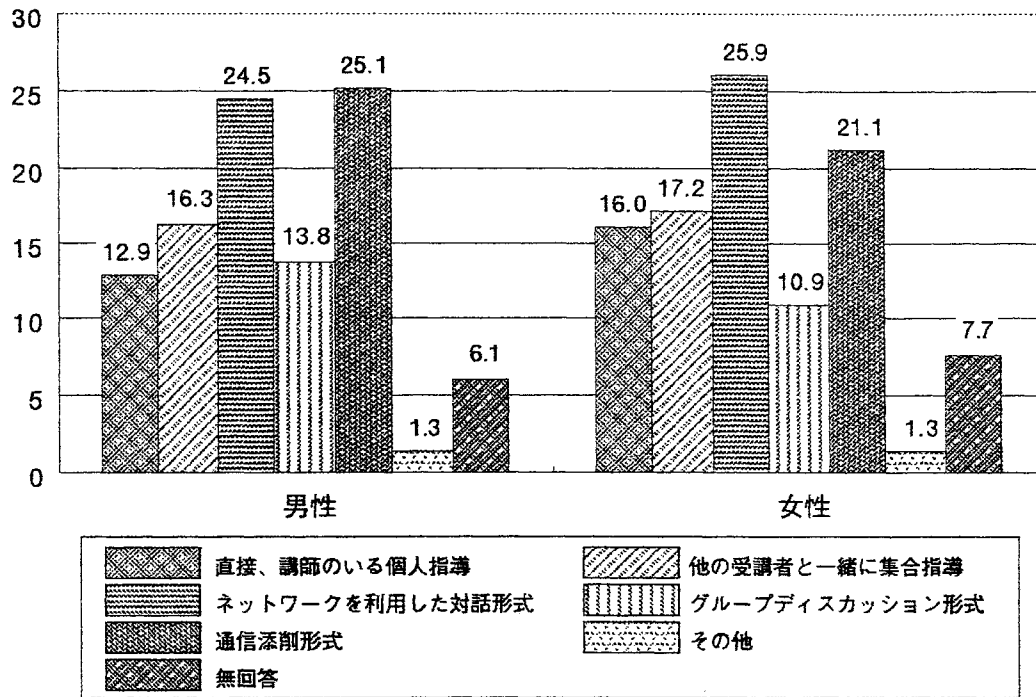


図 2-3-61 面接指導に関する要望（郵送調査の性別）

(2) 年齢別の面接指導に関する要望

まずオンライン調査の「22～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」についてみると、「ネットワークを利用し、質問、相談事項を送信すると翌日には回答が来る通信添削形式」の割合はそれぞれ29.2%、35.2%、37.8と年代が高いほどその割合も高くなっている。また「20～29歳」では「ネットワークを利用した一対一の対話形式」(24.3%)、「ネットワークを利用し他の受講者も入るグループディスカッション形式」(16.1%)が他の年代に比べ高い割合となっている。郵送調査では「22～29歳」における「ネットワークを利用し他の受講者も入るグループディスカッション形式」(17.1%)が他の年代に比べ高い割合となっており、また「50歳以上」では「他の受講者と一緒に集まっての集合指導」が25.3%の最も高い割合であるのに対し、「ネットワークを利用した一対一の対話形式」(17.4%)と「ネットワークを利用し他の受講者も入るグループディスカッション形式」では他の年代と比べて最も低い割合となっている。

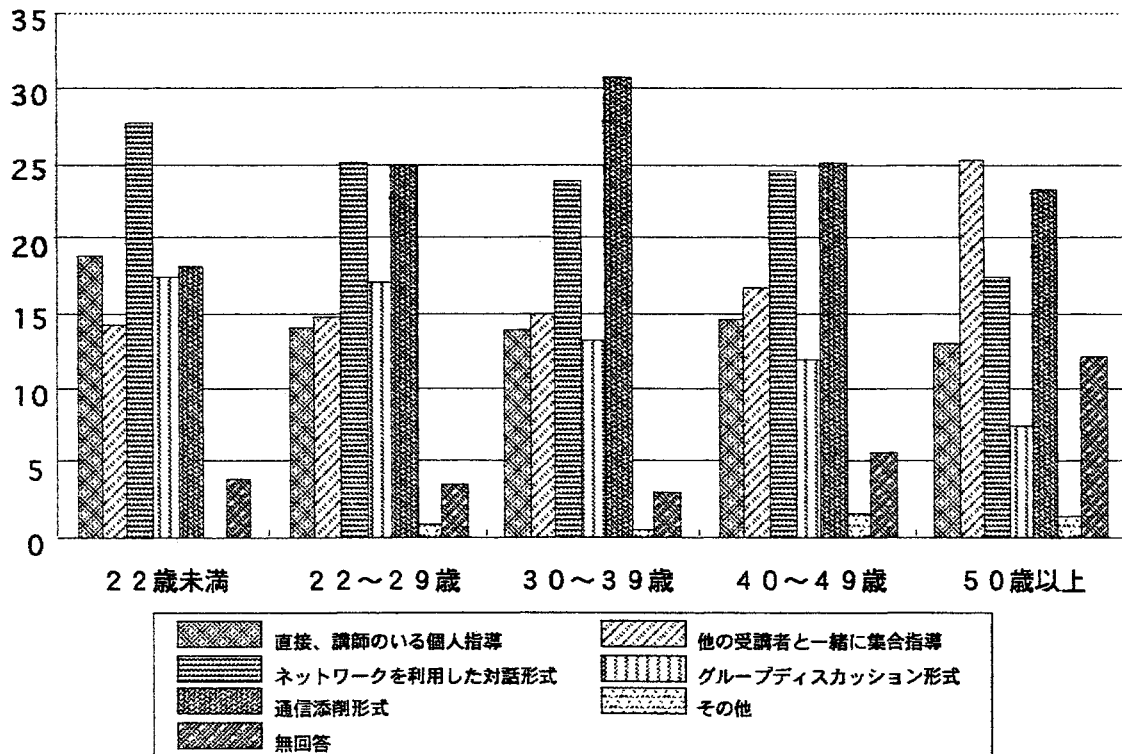


図 2-3-6 2 面接指導に関する要望 (全体の年齢別)

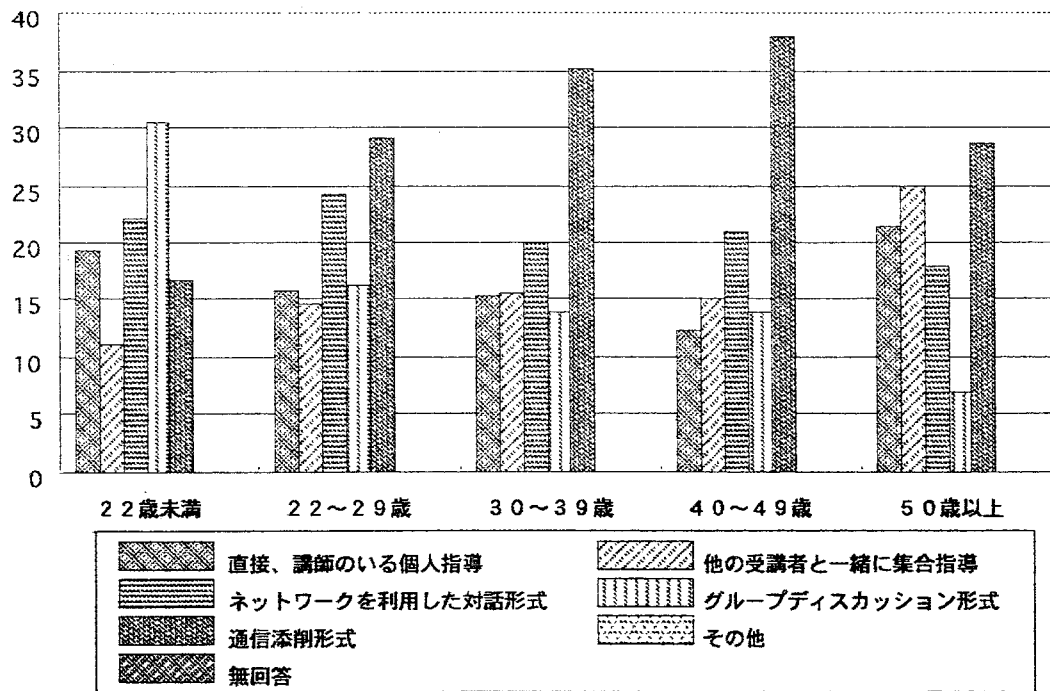


図 2-3-63 面接指導に関する要望 (オンライン調査の年齢別)

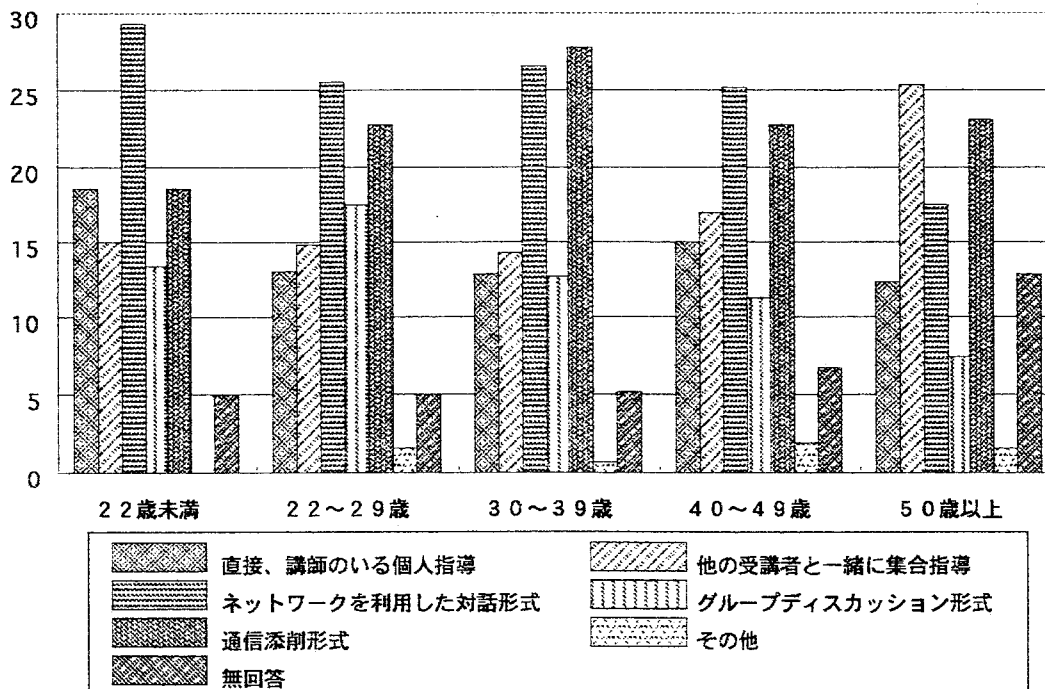


図 2-3-64 面接指導に関する要望 (郵送調査の年齢別)

(3) 居住地域別の面接指導に関する要望

郵送調査のみについて居住地域別に見ると、南関東が他地域と比較して「直接講師のいる場所における個別指導」(17.4%)の割合が高く、逆に「ネットワークを利用し、質問、相談事項を送信すると翌日には回答が来る通信添削形式」(19.8%)の割合は低くなっている。また、北関東では「ネットワークを利用した一対一の対話形式」(30.0%)が他地域に比べて最も高く、逆に「他の受講者と一緒に集まったの集合指導」(12.6%)では最も低い割合となっている。このスクーリングに関しては、地方に共通した傾向等は特に見られない。

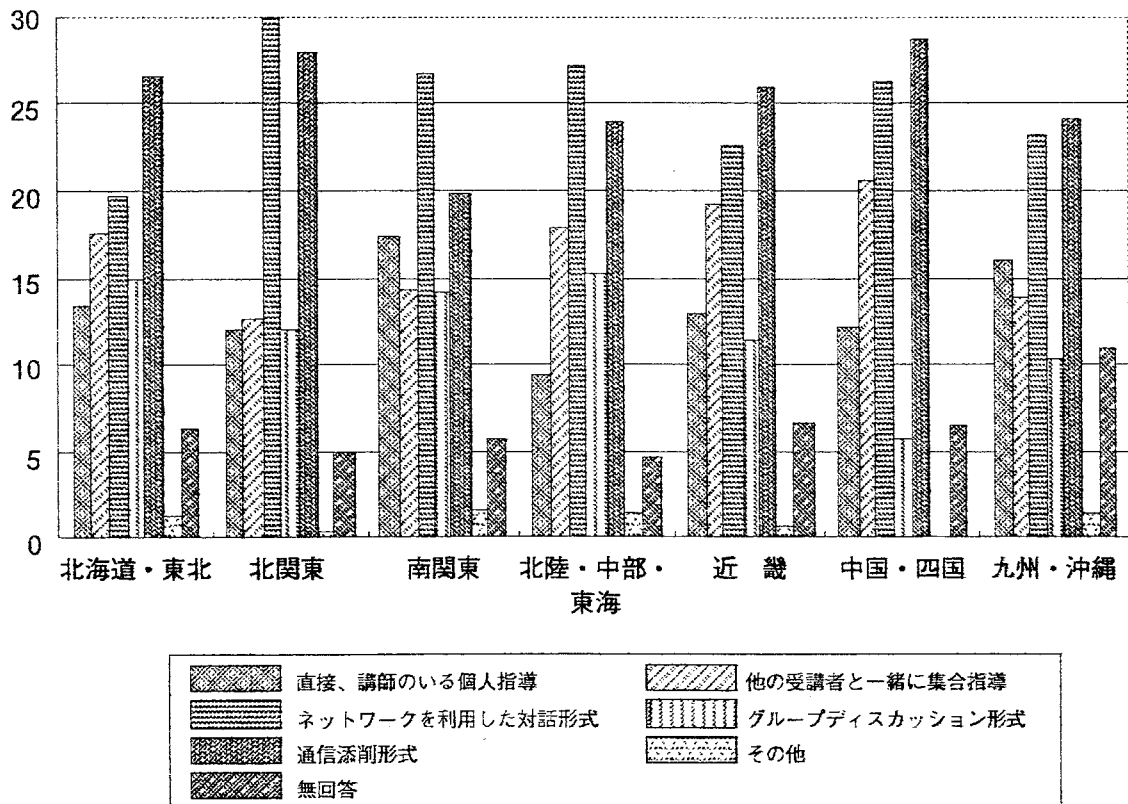


図 2-3-65 面接指導に関する要望 (郵送調査の地域別)

2-3-10 国等への要望

(1) 全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別の国等への要望

在宅学習システムの実施に関して、国等に対して特に期待することを探ったものである。まず全体を見ると「給付金等の金銭的援助」の割合が51.3%で最も高く、以下「在宅学習システムに係る通信基盤の充実」(32.4%)、「習得した成果に対する評価制度の確立」(29.9%)、「教材の質、量の充実」(27.9%)、「講師・専門家等の情報提供」(10.4%)、「他の講座・セミナーとの連携」(7.9%)という順になっている。性別に見ると「給付金等の金銭的援助」については男女共ほぼ同じ割合であるが、女性では「習得した成果に対する評価制度の確立」が33.4%で二番目に高い割合を示しており、男性では「在宅学習システムに係る通信基盤の充実」が33.4%で二番目に高い割合となっている。オンライン調査と郵送調査別に見ると、オンライン調査は「習得した成果に対する評価制度の確立」(35.4%)と「在宅学習システムに関わる通信基盤の充実」(36.9%)の割合が高く、郵送調査では「教材の質、量の充実」(30.0%)の割合が高くなっている。

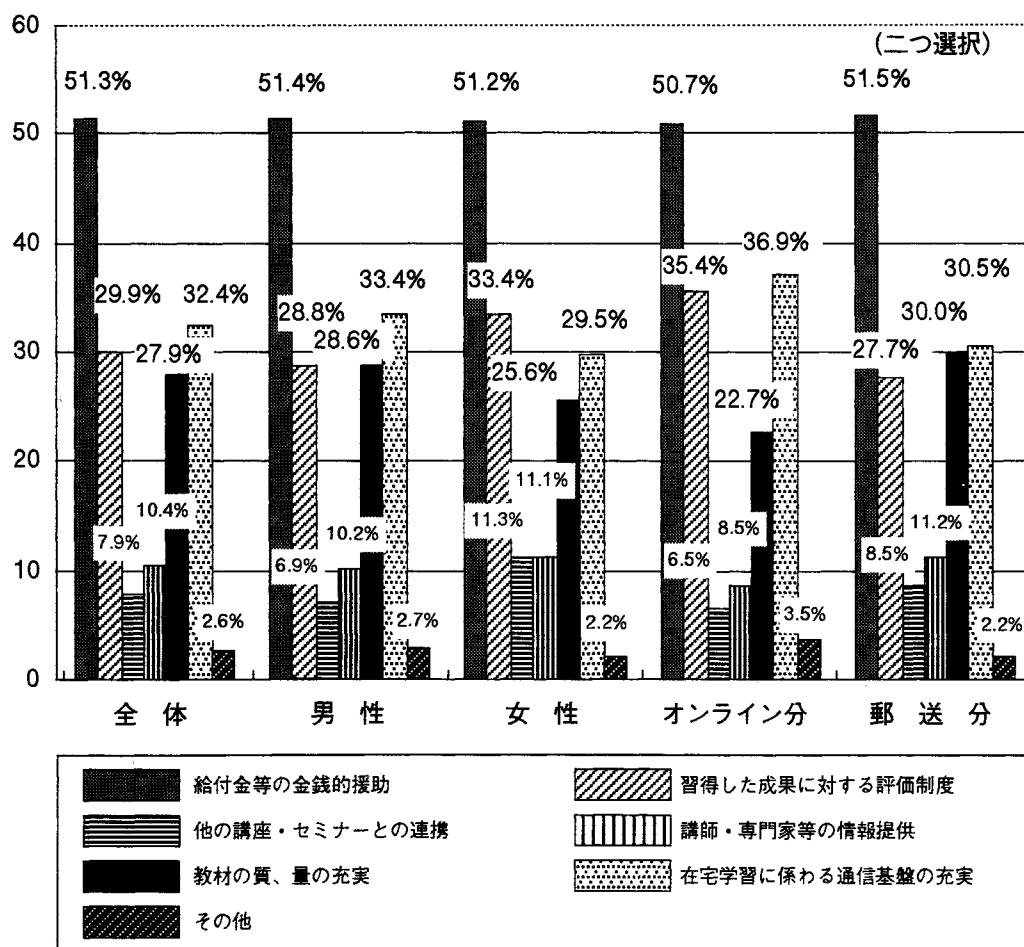


図 2-3-66 国等への要望 (全体及び性別、オンライン調査・郵送調査別)

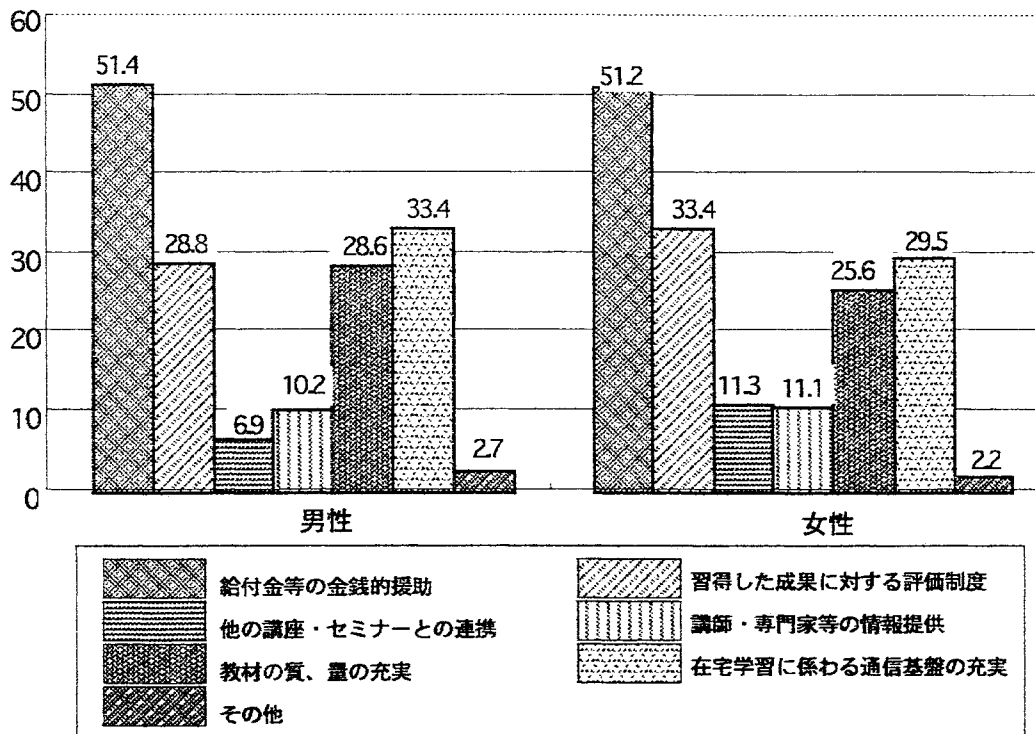


図 2-3-67 国等への要望（全体の性別）

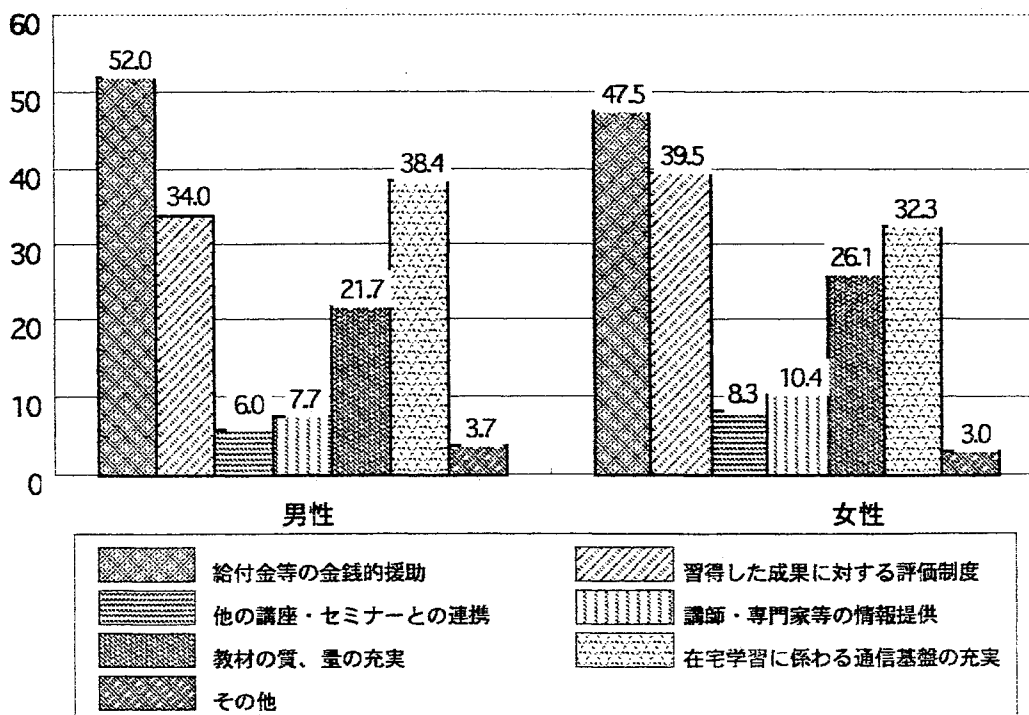


図 2-3-68 国等への要望（オンライン調査の性別）

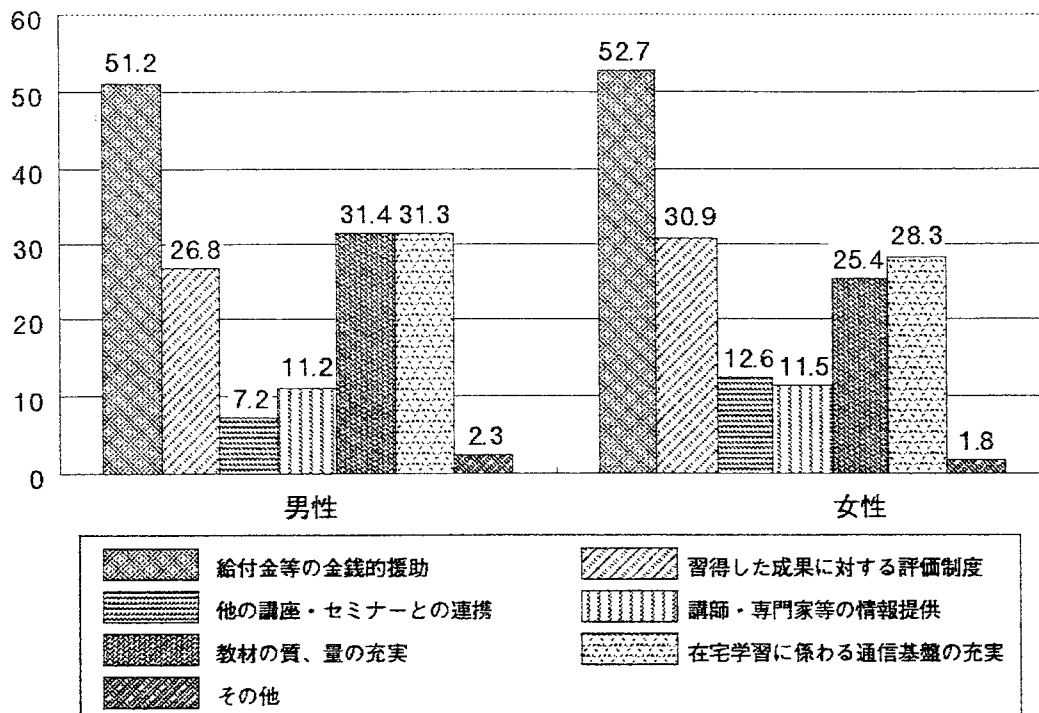


図 2-3-69 国等への要望（郵送調査の性別）

(2) 年齢別の国等への要望

オンライン調査の「20～29 歳」と「30～39 歳」はほとんど同様の傾向であるが、「40～49 歳」では「給付金等の金銭的援助」の割合が 45.9%と低くなり、その分「教材の質、量の充実」と「在宅学習システムに係わる通信基盤の充実」の割合が高くなっている。郵送調査では、パソコン所有率の低さも関係してか「給付金等の金銭的援助」への期待が郵送調査より強く表れており「22 歳未満」で 56.3%、「20～29 歳」で 56.0%、「30～39 歳」で 53.6%という高い割合となっている。逆に「在宅学習システムに係る通信基盤の充実」は全体での割合を下回り、「22 歳未満」で 24.4%、「22～29 歳」で 27.8%、「30～39 歳」で 30.8%となっている。郵送調査では前述の通り、この三つの階級（年代）では「教材の質、量の充実」の割合が「在宅学習システムに係る通信基盤の充実」のそれを上回っている。

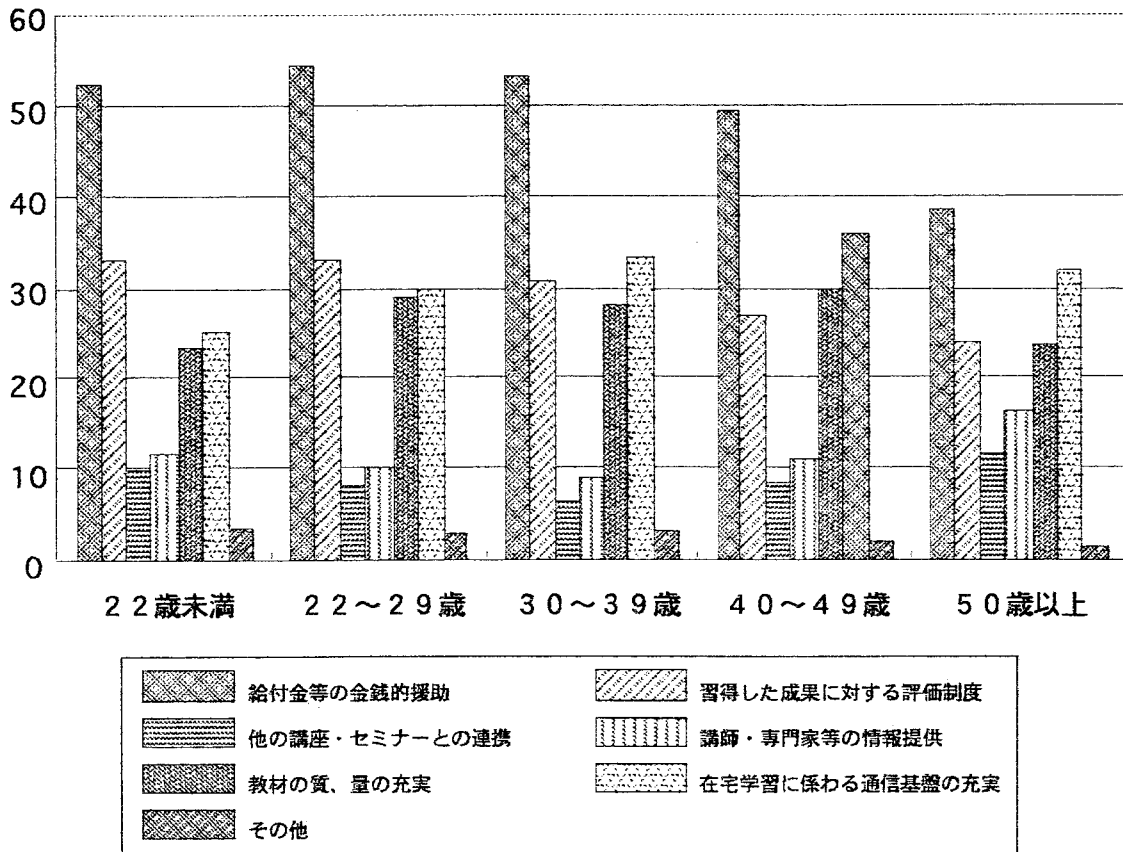


図 2-3-70 国等への要望（全体の年齢別）

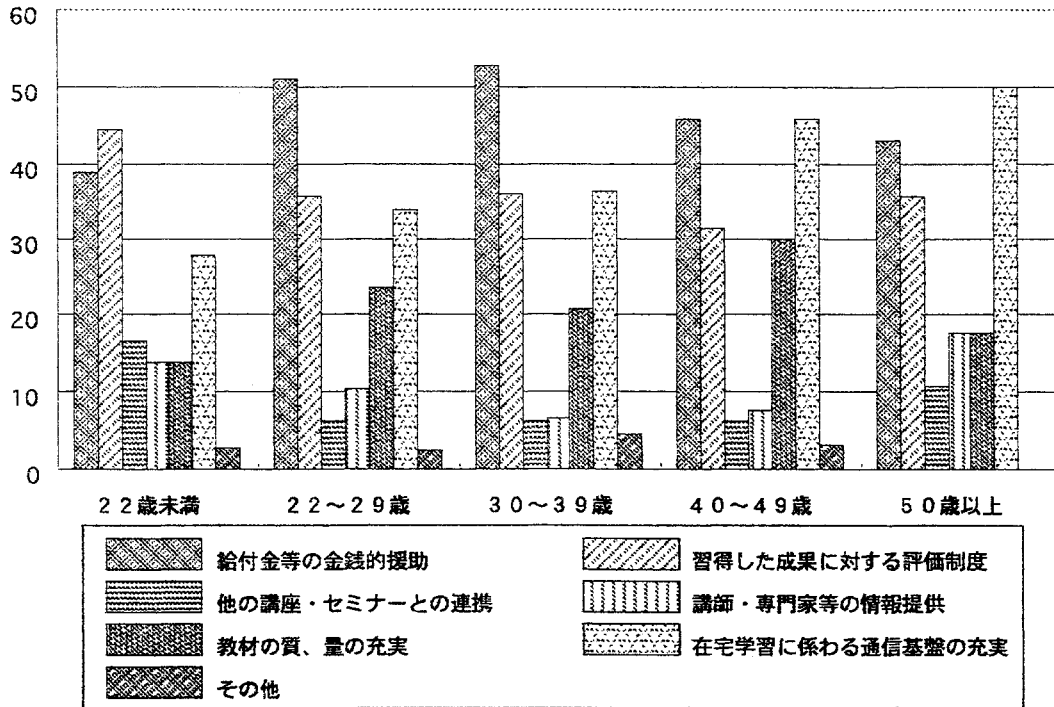


図 2-3-71 国等への要望（オンライン調査の年齢別）

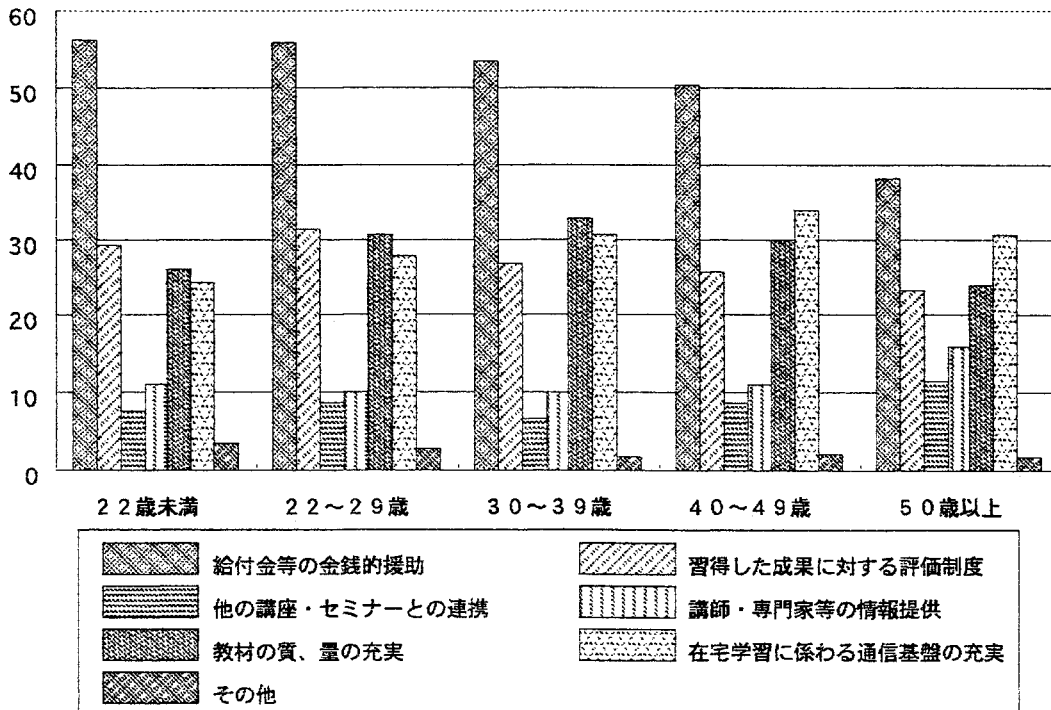


図 2-3-72 国等への要望（郵送調査の年齢別）